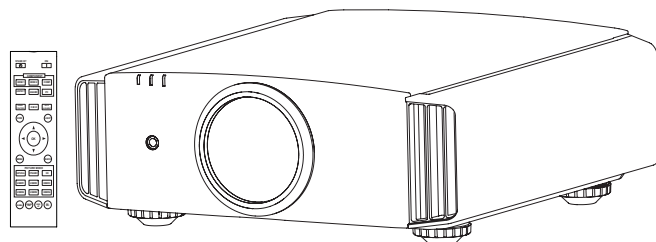


JVC

取扱説明書

D-ILA
プロジェクター

型名 **DLA-F110**



D-ILA®

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

お買い上げありがとうございます

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(4～8ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
D-ILA®は日本ビクターの登録商標です。



ユーザー登録
のすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報や
イベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにも
ご協力をお願いいたします。

● 下記のホームページアドレスより、ご登録ください。
<http://www.victor.co.jp/reg/>

はじめに

準備

操作

お手入れ

その他

もくじ

はじめに

もくじ	2
付属品・別売品	3
付属品を確認しましょう	3
別売品	3
安全上のご注意	4
各部の名前とはたらき	9
本体-前面	9
本体-底面	9
本体-背面	10
本体-インジケータ表示について	11
本体-警告表示と確認・対応	12
本体-入力端子	13
リモコンへの電池の入れ方	14

準備

設置について	16
設置するときの注意	16
プロジェクターとスクリーンを設置する	17
設置角度	17
シフト	17
プロジェクターの固定	18
画面サイズと投写距離	19
リモコンの操作範囲	19
接続について	20
入力可能な信号の種類(PC対応)	20
機器との接続	21
電源コード(付属)の接続	27

操作

基本操作	28
基本操作の手順	28
よく使う便利な機能の操作	30
画面サイズを設定する	30
映像の周囲をマスクする	31
映像を一時的に消す	32
台形補正を調整する	32

メニューで行う調整と設定	33
メニュー階層の構成(一覧)	33
メニュー操作のボタン	39
メニュー操作の手順	40
メニュー項目の解説	41
操作手引き(用語解説)	51

お手入れ

ランプアタッチメントの取り付け・取り外し説明	56
ランプアタッチメント取り付けの手順	56
ランプアタッチメント取り外しの手順	58
取り付け確認用シールの貼付け	59
ランプ交換のしかた	60
ランプ交換の手順	60
ランプの時間リセット	62
フィルターの掃除と交換方法	64

その他

故障かな?と思ったら(トラブルシューティング)	66
こんなメッセージが表示されたら	68
保証とアフターサービス	69
保証書と補修用性能部品について	69
修理を依頼されるときは	69
お客様の個人情報のお取り扱いについて	70
業務機器ご相談窓口案内	71
RS-232C インターフェース	72
RS-232C仕様	72
TCP/IP接続	72
コマンドフォーマット	73
RS-232C 通信例	75
著作権とご注意	76
商標と著作権について	76
使用上のご注意	76
主な仕様	77
外形寸法	79
索引	80

付属品・別売品

付属品を確認しましょう

リモコン	1個
単4形乾電池(動作確認用)	2個
電源コード(約2m)	1本
ランプアタッチメント	1個
取り付け確認用シール	1枚

- そのほかに取扱説明書、保証書、その他印刷物が入っています。

別売品

詳しくは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

- 交換ランプ：PK-L2210U
- 交換フィルター：PC010661199
- 交換ランプアタッチメント：PC010685599
- 3Dメガネ：PK-AG
- 3Dシンクロエミッター：PK-EM

安全上のご注意

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

注意 「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと



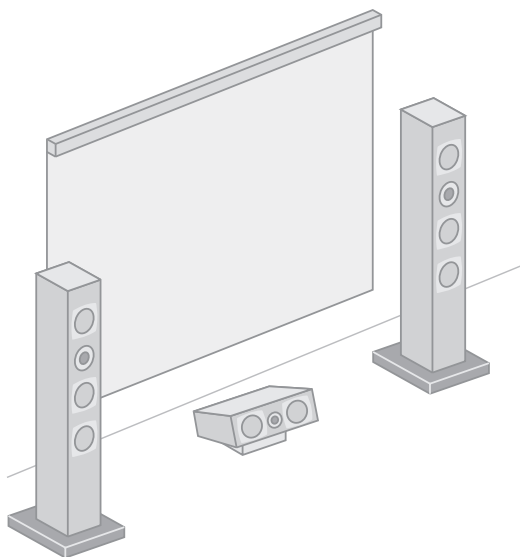
禁止されていること



実行して欲しいこと



警告 設置・使用



- 投写レンズをのぞかない**
 - 強い光が目にあたると、視力障害の原因となります。
- 途中でランプ使用時間をリセットしない**
 - 寿命を超えて使用すると、破裂して火災やけがの原因となります。
- 使用直後にランプを交換しない**
 - ランプが高温になっているため、やけどの原因となります。
 - 1時間以上の冷却時間をおいてください。
- 通風口をふさがない**
 - じゅうたんや布団などの上やテーブルクロスなどをかけて使用すると、内部に熱がこもって、火災の原因となります。
 - ランプが冷却されず、破損して、けがの原因となります。
- 排気口にエアコンなどの風を直接あてない**
 - 内部に熱がこもって、火災の原因となります。

- 梱包に使用していたポリ袋などは、小さなお子様の手の届くところに置かない**
 - 頭からかぶると、窒息の原因となります。
- 不安定な場所や荷重に耐えられない場所に置かない**
 - ぐらついた台の上や傾いたところ、振動、衝撃のある荷重に耐えられないところなどに置くと、落下、転倒などから、けがの原因となります。
 - 本機は、縦置きでの設置は不可です。

- 電源コードを傷つけない**
 - 痛んだまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 電源プラグはコードの部分を持って抜かない**
 - コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードは付属品を使用する**
 - 付属品以外のコードを使用すると、火災や感電の原因となります。
- 付属の電源コードを他の機器で使わない**
 - 火災や感電の原因となります。

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物が入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ
- ランプが破裂した
- ファンが動かない



電源スイッチを切る

電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。



この機器の上に水の入ったものを置かない

禁止

- 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



風呂場などの水のある場所で使わない

水場での使用禁止

- 火災や感電の原因となります。



内部に物や可燃性のガスなどを入れない

禁止

- 機器の内部に物や可燃性のガスなどが入ると、火災や感電の原因となります。



分解・改造をしない

分解禁止

- 内部に高電圧の部分があり、火災や感電の原因となります。



引火・爆発のおそれがある場所で使わない

禁止

- 引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。



一般的注意

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む

- ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。



禁止

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない

- 発熱して、火災の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となります。



禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

- ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
半年に一度は、プラグを抜いて乾いた布で拭いてください。



一般的注意

電源プラグは、抜き差ししやすいコンセントに差し込む

- 機器に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。



禁止

表示された電源電圧以外では使用しない

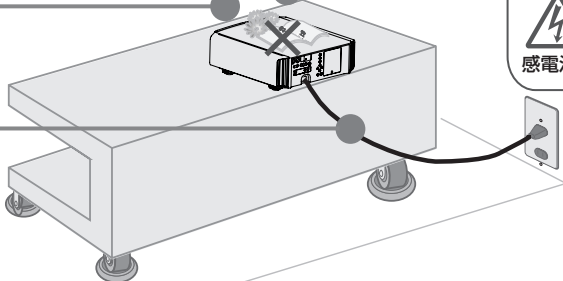
- 火災や感電の原因となります。



感電注意

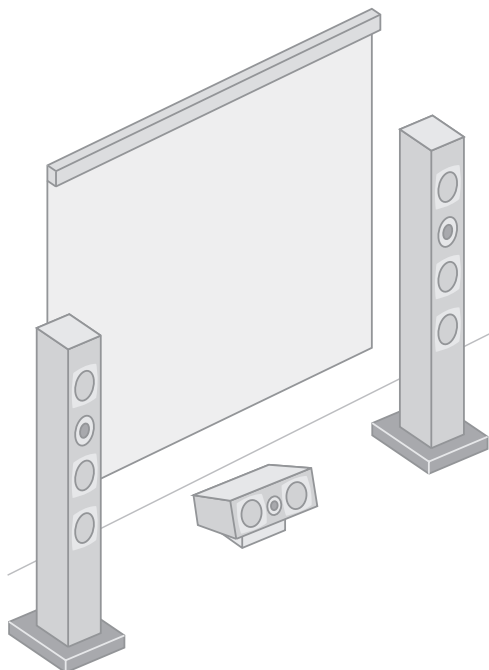
雷がなったら、電源プラグには触らない

- 感電の原因となります。



安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意 設置・使用



禁止

ランプに衝撃を加えたり、傷つけない

• ランプが破裂して、けがをする原因となります。



禁止

新しいランプのガラス面に触らない

• ランプの寿命が短くなったり、ランプが破裂したりして、けがの原因となります。



禁止

湿気やほこり、湯気、油煙のあたる場所には置かない

• 油や水分、ほこりなどに電気が流れ、火災や感電の原因となります。



禁止

熱源の近くには置かない

• 機器の変形、劣化のほか、火災の原因となります。



一般的注意

キャスター付きの台に乗せるときは、キャスターを固定する

• 動いたり、倒れたりして、けがの原因となります。



一般的注意

健康のため、30～60分ごとに5～15分の休憩をとり、目を休めてください

• 特に、3D鑑賞中に疲労、不快感等、異常を感じたら、使用を中止してください。また、2重に映像が見えたら、表示機器やソフトを適切に調整してください。調整しても見えるようでしたら使用を中止してください。

3年に一度は内部点検をしてください

• 本機には、機能を維持するために交換が必要となる部品(冷却用ファンなど)が含まれています。部品交換の目安は、使用する頻度や環境によって大きく変わります。交換につきましては、お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。



一般的注意



一般的注意

電源コードは、この機器につないでからコンセントにつなぐ

• 感電の原因となります。



アース線をつなぐ

アース線を接続する

• アース線を接続しないと感電の原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

• 電源が切ても機器に電気が流れています。安全、節電のために電源プラグを抜いてください。



電源プラグを抜く

ランプ交換やお手入れをするときは電源プラグを抜く

• 安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。



電源プラグを抜く

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす

• コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

**天吊りについての警告・注意**

禁止

専門の知識や技術のないかたは設置工事をしない

- 専門の知識や技術が必要です。設置工事は必ず販売店にご依頼ください。専門の知識や技術のないかたが行うと、けがや感電の原因となります。



禁止

振動する場所への天吊り設置はしない

- 振動により取付部分が破損し、落ちたりして、けがをする原因となります。



禁止

ぶらさがったり、ゆすったり、物を引っかけたりしない

- 過度の荷重がかかると、落ちたりして、けがをする原因となります。



一般的注意

本機を天井に固定するときは

- 当社以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天井に吊り下げて使用するときは、本機周辺の温度に気をつけてください。暖房を使用した場合、天井付近は予想以上に高温になります。

**電波障害についての注意**

一般的注意

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。



高温注意

高温部には触れない

- 投写中は排気口やその周辺部には触れないでください。やけどの原因となります。



禁止

この機器の上に重い物を置いたり、乗ったりしない

- けがの原因や、変形して火災や感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき)



固定するときの注意



- 地震など、非常時の安全確保と事故防止のため、転倒・落下防止の処置をしてください。



- 本機を台や天井に固定するときは、底面のフット4個をはずし、それらのネジ穴(M5ネジ)4か所すべてを使用して固定してください。



- ネジ穴の深さ(ネジの長さ)は、23mmです。取り付け部分のネジは、長さ 23mm以下、13mm以上のネジをお使いください。指定以外のネジを使用した場合は、故障や本機の落下などの原因になります。



- 台に固定する場合、吸気口をふさがないように吸気口周辺に十分なスペース(フットの高さ10mm以上)を確保してください。



- 本機を左右±5°以上傾けてお使いになることは避けてください。



3D観賞についての警告・注意



「3D方式の解説」(ページ52～54)もお読みください。



- 投写映像サイズの高さの3倍の距離から観賞してください。



- 光過敏の既往症のある人や、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dメガネを使用しないでください。



- 3D映像を視聴中、体調不良が引き起こされることがあります。体調に変化を感じた場合はすぐに視聴を中止し、必要に応じて医師に相談ください。



- 3D映像を視聴中は、定期的に休憩をとることを推奨します。休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。



- お子様が3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様が視聴の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなることがありますので、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。特に6歳未満のお子様に3D映像については視覚が発達段階にあるため、必要に応じて医師に相談ください。



- 3Dの機能を使うと機器側での画像変換によりオリジナルの映像と見え方に差が出ます。ご留意の上、お使いください。



使用上のご注意



素子に画像が焼き付くことがあります

- 主にビデオゲームやコンピュータプログラム画面など高輝度・高コントラスト画面を持つ静止映像などを長い時間映さないでください。通常のビデオ再生映像などの動画では問題ありません。



長時間使用しないと、機能に支障をきたすことがあります

- ときどき電源を入れて動作させてください。



たばこを吸う部屋での使用は避けてください

- 光学系部品にヤニの汚れが付くと、取り除く事はできません。性能劣化の原因となります。



乾電池の使い方に注意する



- プラス(+)とマイナス(-)のまちがい
- 違う種類や一度使用した電池を混ぜる
- 電極のショート
- 加熱、分解および水中もしくは火中へ入れる
- 充電する

誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などで、火災の原因となります。

長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。万一、液漏れしたら、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってください。

液が身体、衣服などに付いたときは、水でよく洗い流してください。

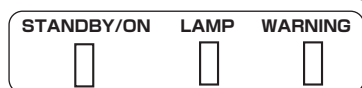
電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の指示に従ってください。

各部の名前とはたらき

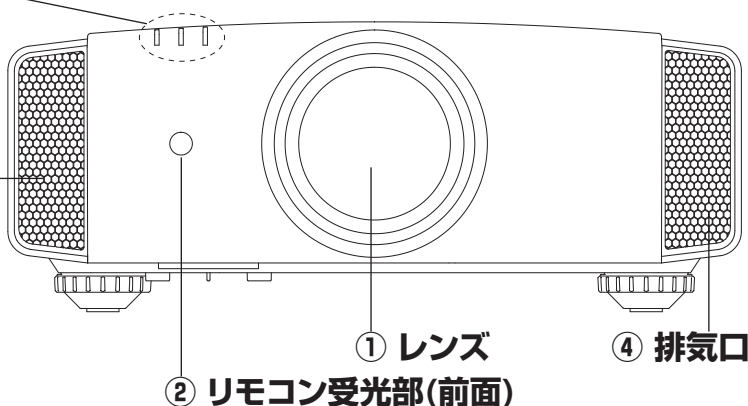
本体—前面

はじめに

③ インジケーター



④ 排気口



① レンズ

投写レンズです。投写中は覗き込まないで下さい。

③ インジケーター

詳細は「インジケーター表示について」をご覧ください。
(参考ページ:11)

② リモコン受光部(前面)

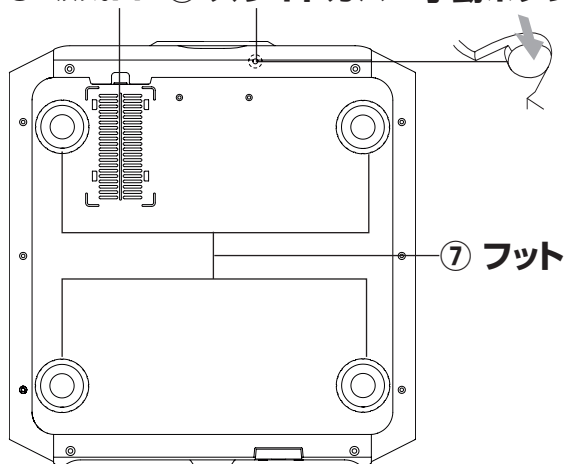
リモコンで操作するときは、リモコンをここに向けて操作します。
* 受光部は背面にもあります。

④ 排気口

セット内部を冷却する為に温風が出ています。
排気口は塞がないでください。

本体—底面

⑤ 吸気口 ⑥ スライドカバー手動ボタン



⑤ 吸気口(底面・背面の3箇所)

内部を冷却する為の空気を取り込んでいます。
塞いだり、温風を吹き付けたりしないようにしてください。故障の原因になります。
* 背面の左右に吸気口2箇所あります。
(参考ページ:10)

⑥ スライドカバー手動ボタン

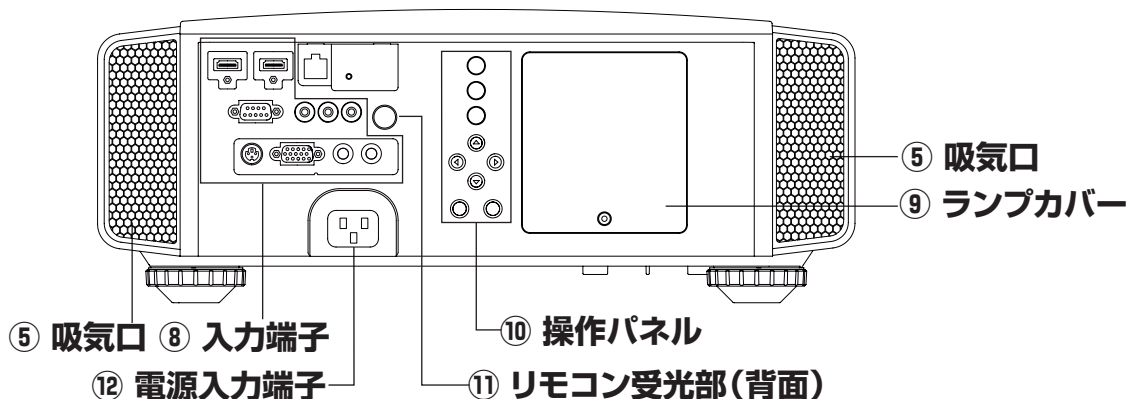
押した状態で、スライドカバーをあけることができます。メンテナンス用ですので普段での使用は必要ありません。

⑦ フット

回すと高さや傾斜を調整できます。
(0~5mm)

各部の名前とはたらき(つづき)

本体—背面



⑧ 入力端子

映像の入力端子以外に制御・オプション機器などの接続端子もあります。端子の詳細については「入力端子」をご覧ください。(参考ページ:13)

⑨ ランプカバー

光源ランプを交換する時は、このカバーを外します。(参考ページ:60)

⑩ 操作パネル

詳しくは下図「操作パネル」をご覧ください。

⑪ リモコン受光部(背面)

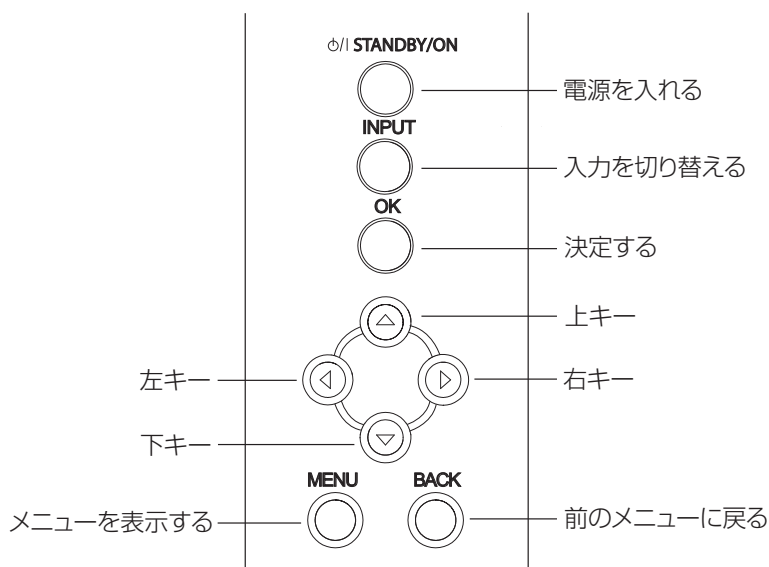
リモコンで操作するときは、リモコンをここに向けて操作します。

* 受光部は前面にもあります。

⑫ 電源入力端子

電源入力端子です。付属の電源コードを接続します。(参考ページ:27)

■ 操作パネル



各部の名前とはたらき(つづき)

本体・インジケータ表示について

本機の通常動作モード・ランプ交換の目安・警告を本機前面の[STAND BY/ON]、[LAMP]、[WARNING]インジケータで表示します。

発光の図の意味:



インジケータの点灯を表します。



インジケータの点滅を表します。

動作モードの表示

[STAND BY/ON]インジケータの色と点灯・点滅で表示します。

STAND BY点灯(赤)

スタンバイ状態のとき



STAND BY点灯(緑)

ランプ起動中のとき(約1分)



STAND BY点滅(赤)

クールダウンモードのとき



STAND BY点滅(緑)

Hide オンのとき



すべて消灯

映像投写のとき



ランプ交換の目安表示

[LAMP]インジケータの点灯・点滅で表示します。また、この時の本機の動作モードを示す[STAND BY/ON]インジケータも前述のように表示します。(参考ページ:77)

LAMP点灯(橙)

ランプ交換が近くなったとき(ランプ使用時間が2900時間を超えたとき)



各部の名前とはたらき(つづき)

本体・警告表示と確認・対応

警告表示

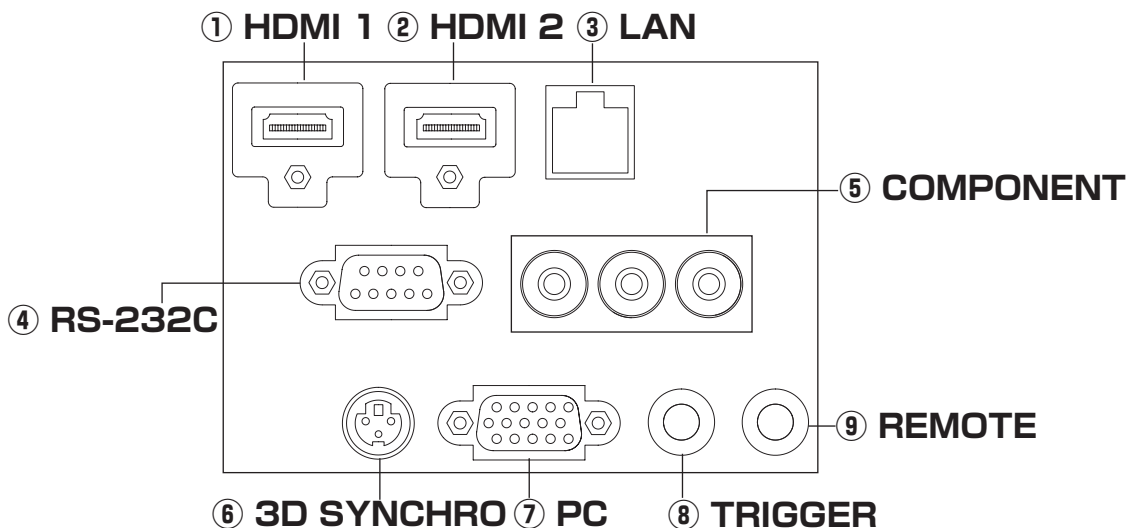
[WARNING]と[LAMP]インジケータの表示動作(繰り返されます)で警告の内容がわかります。また、本機の動作モードを示す[STAND BY/ON]インジケータも前述のように同時に表示します。表示すると同時に警告モードになり、自動的に投写を中断して約60秒間冷却ファンを回します。冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、下記の確認と対応を行なってください。

点灯点滅の状態図	点滅回数	内容	確認と対応
   モード の表示	1回	電源に異常があるとき	● 吸気口をふさぐようなものがないか確認してください。 ● 外部の温度が正常か確認してください。 対応 本機をしばらくそのまま冷やしてください。その後、電源を入れてください。
	2回	冷却ファンが異常停止したとき	
	3回	内部の温度が異常に高いとき	
	4回	外部の温度が高いとき	
   モード の表示	1回	回路動作に異常があるとき	● 動作中に衝撃を受けることがないか確認してください。 ● ランプユニット、ランプカバーが正しく取り付けられているか確認してください。 ● 自動スライドカバーに異物がないか確認してください。 対応 再度、電源を入れてください。
	2回		
	3回		
	4回	自動スライドカバーに異常があるとき	
   モード の表示	1回	ランプが点灯せずに投写できなかったとき	● 動作中に衝撃を受けることがないか確認してください。 ● ランプユニット、ランプカバーが正しく取り付けられているか確認してください。 ● 自動スライドカバーに異物がないか確認してください。 対応 再度、電源を入れてください。
	2回	投写中にランプが消えたとき	
	3回	ランプカバーがはずれているとき	

再度、警告モードになるときは、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口修理を依頼してください。
(*)ランプ交換の目安時間を超えている場合は点灯になる事があります。

各部の名前とはたらき(つづき)

本体—入力端子



① HDMI 1 端子

HDMI 出力を持つ機器などを接続できます。
M3のロック穴付きです。ネジ穴深さ3mm。
(参考ページ:22)

② HDMI 2 端子

HDMI 出力を持つ機器などを接続できます。
M3のロック穴付きです。ネジ穴深さ3mm。
(参考ページ:22)

③ LAN 端子「RJ-45」

LAN 端子です。外部にパーソナルコンピューターを接続して、制御コマンドを送出することで本機をコントロールすることができます。
(参考ページ:26)

④ RS-232C 端子(D-Sub 9 ピン オス)

RS-232Cインターフェース規格の端子です。外部にパーソナルコンピューターを接続して、本機をコントロールすることができます。
(参考ページ:25)

⑤ COMPONENT端子「RCAx3」

アナログRGB(G on Sync)信号、コンポーネント(Y,Cb,Cr)信号、DTVフォーマット(Y,Pb,Pr)信号の入力端子としても使用です。コンポーネント信号出力を持つ機器などを接続できます。(参照ページ: 23)

⑥ 3D SYNCHRO 端子

3Dシンクロエミッター:PK-EM1(別売り)を接続して3D 映像を鑑賞する時に使用します。
(参考ページ:24)

⑦ PC 端子「D-Sub 15 ピン」

パーソナルコンピューター(パソコン)信号専用(RGB の映像信号と同期信号)の入力端子です。パソコンのディスプレイ出力端子などを接続します。(参考ページ:24)

⑧ TRIGGER 端子(⊖ ⊕)

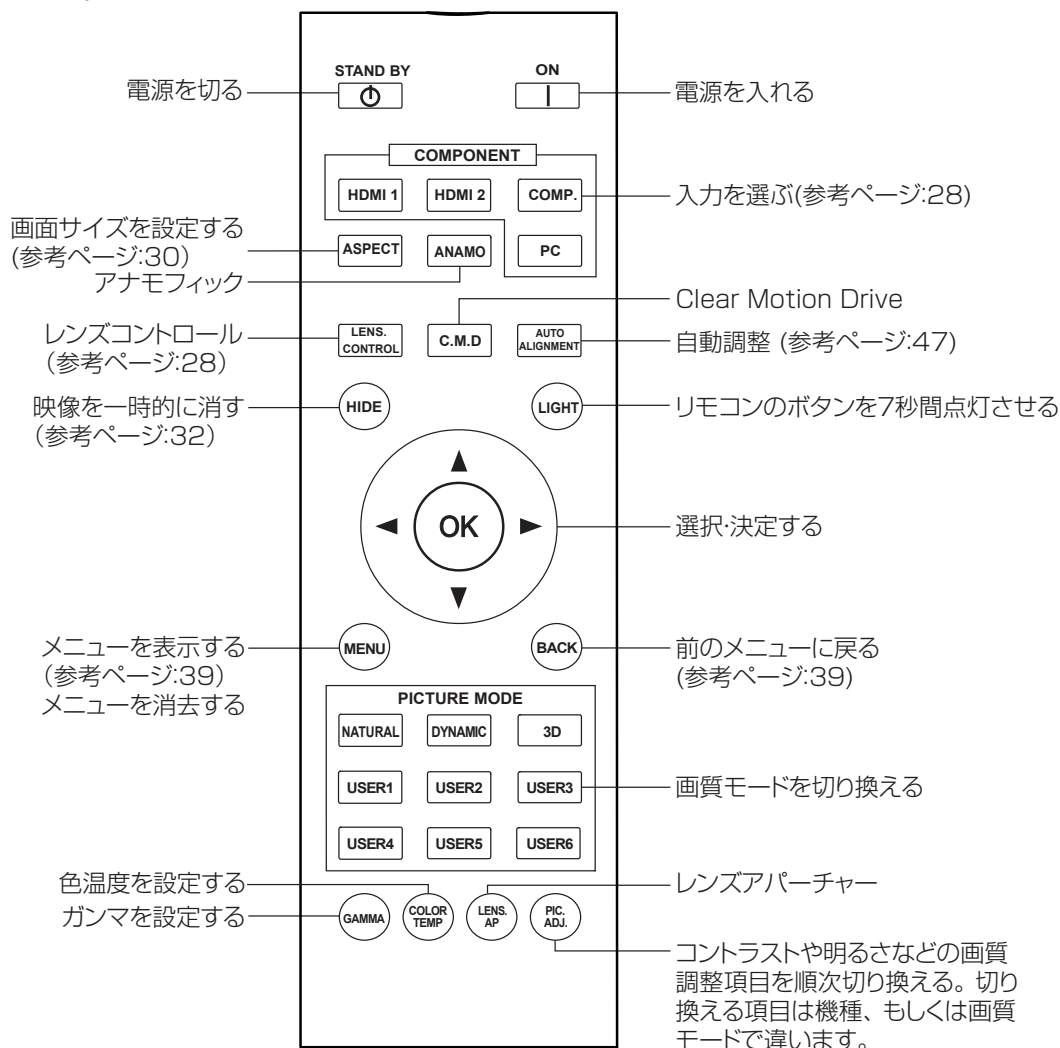
DC12V, 100mAのDC電源出力端子で、SCREEN TRIGGER対応の昇降式スクリーンなどを制御するための出力信号です。接続を誤りますと機器の破損の原因となりますのでご注意ください。(Tip=DC +12 V, Sleeve=GND)
(参考ページ:25,49)

⑨ REMOTE 端子「ステレオミニジャック」

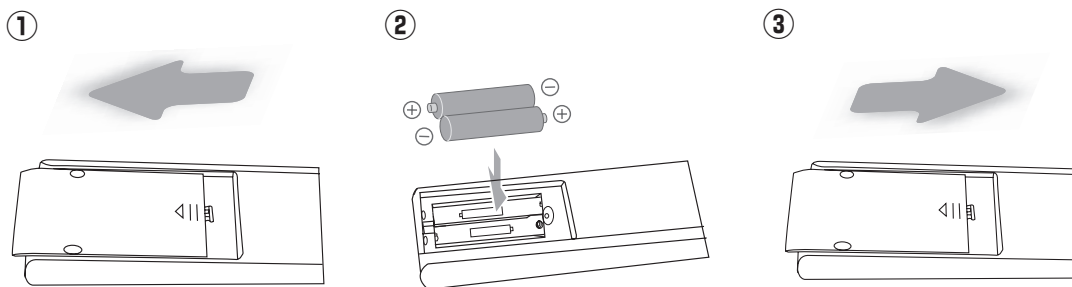
専用BOXやリア投射による本体の設置などで、リモコンが使用できない場合に、外部受光部を設け、その外部受光部と本体を接続する時に使用します。外部受光部は商品としてはありません、ビクターサービス窓口にご相談ください。
(参考ページ:26)

各部の名前とはたらき(つづき)

■ リモコン



リモコンへの電池の入れ方



- リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。⊕ ⊖ の向きを表示どおり正しく入れてください。
- 乾電池を入れるときは ⊖ 側から入れてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を取り出し、5分ぐらいたってからもう一度乾電池を入れて操作してください。

設置について

設置するときの注意

本機を設置するときには、次のことをよくお読みになって設置してください。



設置する環境

注意

本機は精密機器ですので、次のような場所での設置や使用はおやめください。火災や故障の原因となることがあります。

- ・ 水や湿気、ほこりの多いところ
- ・ 油煙やたばこの煙のあたるところ
- ・ じゅうたんや布団などの柔らかいものの上
- ・ 直射日光があたって高温になるところ
- ・ 高温・低温のところ

許容動作温度範囲: +5℃～+35℃

許容動作相対湿度範囲: 20%～80%(非結露)

許容保存温度範囲: -10℃～+60℃

- ・ 煙草の煙や油気がある部屋に設置しない微量の煙や油気でも長い間に影響があります。本機は放熱のため大量の吸気により光学部の冷却を行っています。光路に汚れが付着し映像が暗くなったり、発色が悪化するなど故障の原因となります。光学部品に付着した汚れは除去することができません。



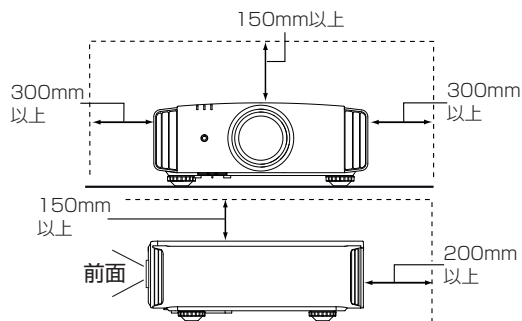
壁や他の機器と間隔をあけて設置する

注意

放熱をよくするため、周囲との間に下図の空間距離を保つようにしてください。

そして、前面は開放してください。前面に遮蔽物があると排気口からの熱風が逆流して本体を加熱したり、排気の熱い空気による影がスクリーン上に映る(陽炎現象)ことがあります。

また、下図のような寸法で囲うときは、囲った内部が外部と同じ温度になるよう空調を行なってください。高温となって、故障の原因となります。



お使いになるときの注意

注意

本機は投写中に高温になる光源ランプを使用しています。ご使用になるときには、次のような投写はおやめください。

火災や故障の原因となることがあります。

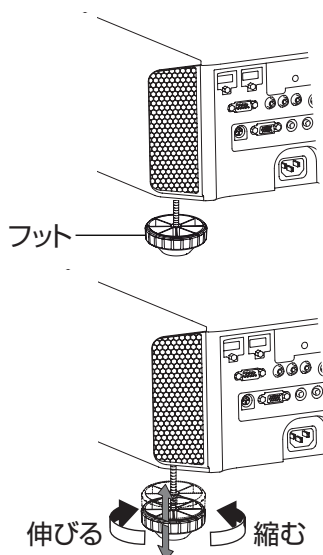
- ・ 横倒しでの投写
- ・ むりな設置角度での投写
- ・ 本機を±90°以上傾けてお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を損ねる原因となることがあります。
- ・ 吸気口、排気口をふさぐような場所での投写

スクリーンは生地が不均一のものをお選びください。格子縞のように均一なものと、D-ILA素子の画素配列との間で干渉縞を発生させることがあります。発生した干渉縞を低減するには画面の大きさを変えて、目立たないようにする方法があります。

本機での傾き調整

上下角の調整のしかた

フットを回すと本機の高さと傾斜(0～5 mm)を調整できます。本機を持ち上げて、4つのフットで調整します。



設置について(つづき)

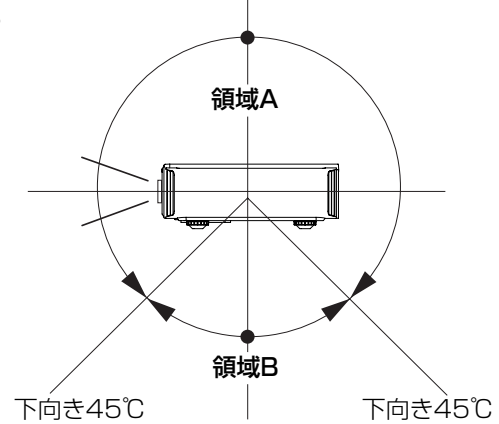
プロジェクターとスクリーンを設置する

本機とスクリーンを設置します。 本機とスクリーンを直角に設置してください。
直角に設置しないと、映像が台形にひずみます。(参考ページ:32、47)

設置角度

本機は、図のような傾斜角度で設置ができますが、一部領域では設置に条件があります。また、設置の角度に応じては天吊金具や固定する置台を必要とする場合があります。

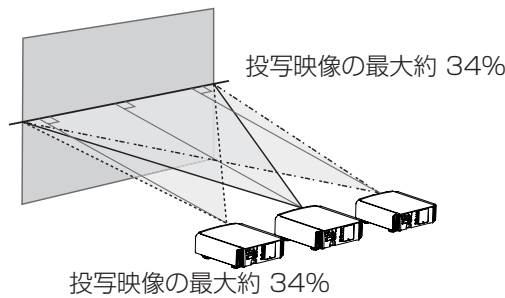
- 領域A：設置可能な範囲です。
- 領域B：設置にランプアタッチメントが必要な範囲です。
付属のランプアタッチメントを必ずご使用ください。(参考ページ：56)
取り付けられていないと機器の故障の原因になります。



シフト

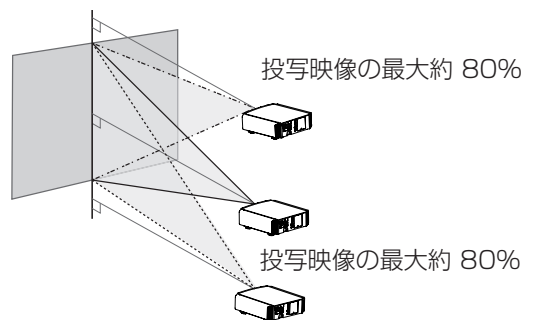
■ 左右の位置

* 上下の位置は 0% (中央)



■ 上下の位置

* 左右の位置は 0% (中央)

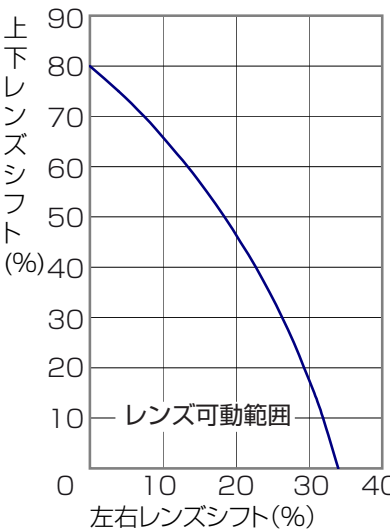


レンズシフトの相関表

左右シフト量 (%)	0%	10%	20%	30%	34%
上下シフト量 (%)	80%	66%	47%	18%	0%

- 左右のシフト量により上下の最大シフト量が変わります。また、逆に上下のシフト量で左右の最大シフト量が変わります。
- 表及びグラフ中の数値はあくまでも目安です。設置するときの参考としてご利用ください。

■ レンズシフトの移動範囲

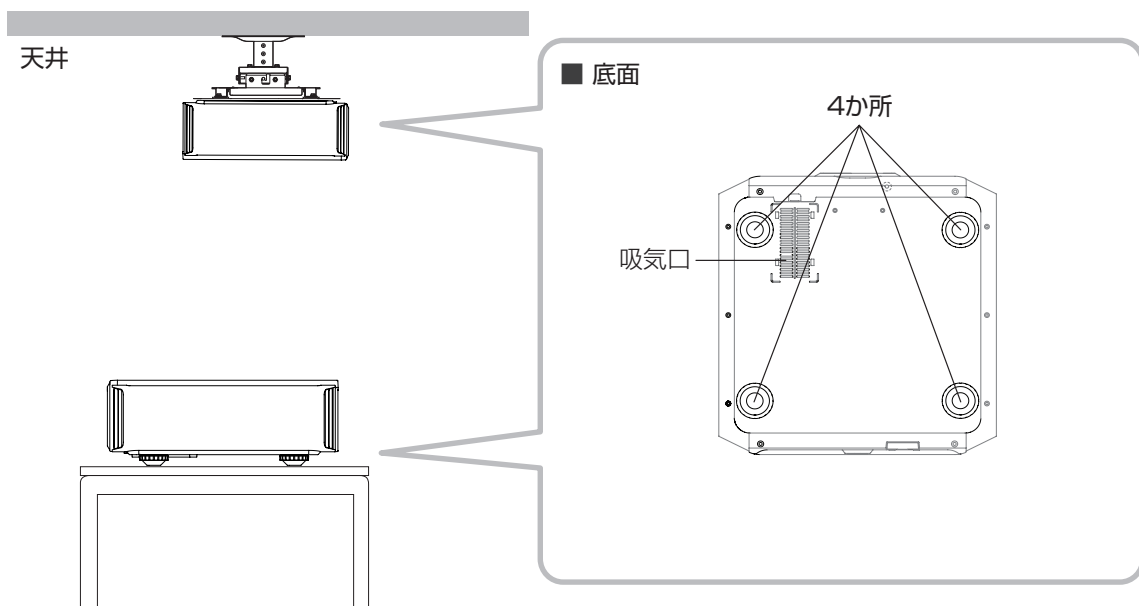


準備

設置について(つづき)

プロジェクターの固定

地震など、非常時の安全確保と事故防止のため、転倒・落下防止の処置をしてください。本機を台や天井に固定するときは、底面のフット4個をはずし、それらのネジ穴(M5 ネジ)4か所すべてを使用して固定してください。



固定するときの注意

- 設置工事は専門の知識や技術が必要です。設置工事は、必ず販売店または工事専門業者にご依頼ください。
- ネジ穴の深さ(ネジの長さ)は、23mmです。取り付け部分のネジは、長さ 23mm以下、13mm以上のネジをお使いください。**指定以外のネジを使用した場合は、故障や本機の落下などの原因になります。**
- 台に固定する場合、吸気口をふさがないように吸気口周辺に十分なスペース(フットの高さ10mm以上)を確保してください。
- 本機を左右 $\pm 5^{\circ}$ 以上傾けてお使いになることは避けてください。
- 当社以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天井に吊り下げて使用するときは、本機周辺の温度に気をつけてください。暖房を使用した場合、天井付近は予想以上に高温になります。

設置について(つづき)

画面サイズと投写距離

お好みの画面サイズになるように、 レンズからスクリーンまでの距離を決めます。
本機の投写レンズは2.0倍電動ズームレンズです。

■ 投写画面サイズと投写距離

投写画面サイズ (高さ、幅) アスペクト比 16 : 9	およその投写距離 W(ワイド端) ~ T(テレ端)
60 型 (約0.7、1.3m)	約1.78m ~ 約3.66m
70 型 (約0.9、1.5m)	約2.09m ~ 約4.28m
80 型 (約1.0、1.8m)	約2.40m ~ 約4.89m
90 型 (約1.1、2.0m)	約2.70m ~ 約5.51m
100 型 (約1.2、2.2m)	約3.01m ~ 約6.13m
110 型 (約1.4、2.4m)	約3.31m ~ 約6.75m
120 型 (約1.5、2.7m)	約3.62m ~ 約7.36m
130 型 (約1.6、2.9m)	約3.92m ~ 約7.98m

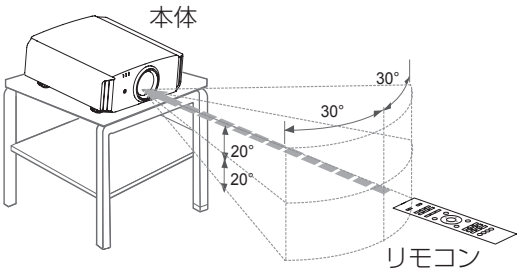
投写画面サイズ (高さ、幅) アスペクト比 16 : 9	およその投写距離 W(ワイド端) ~ T(テレ端)
140 型 (約1.7、3.1m)	約4.23 m ~ 約8.60m
150 型 (約1.9、3.3m)	約4.53m ~ 約9.22m
160 型 (約2.0、3.5m)	約4.84m ~ 約9.84m
170 型 (約2.1、3.8m)	約5.14m ~ 約10.45m
180 型 (約2.2、4.0m)	約5.45m ~ 約11.07m
190 型 (約2.4、4.2m)	約5.75m ~ 約11.68m
200 型 (約2.5、4.4m)	約6.06m ~ 約12.30m

準備

リモコンの操作範囲

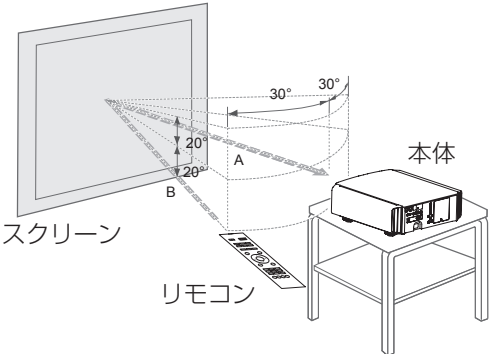
■ 直接本体に向けて使うときは

- リモコン受光部(前面・背面)に対して7m以内でお使いください。
- 操作できないときは、近づけてください。



■ スクリーンなどに反射させて使うときは

- 本体とスクリーンの距離Aとリモコンとスクリーンの距離Bの合計が7m以内になるようにしてください。
- ご使用になるスクリーンの種類によって、リモコン信号の反射する効率が異なるため、操作できる距離が短くなることがあります。



接続について

入力可能な信号の種類(PC 対応)

● HDMI

No.	名称	解像度	fh [kHz]	fv [Hz]	dot CLK [MHz]	総ドット数 [dot]	総ライン数 [line]	有効ドット数 [dot]	有効ライン数 [line]
1	VGA 60	640 X 480	31.500	60.000	25.200	800	525	640	480
2	VGA 59.94	640 X 480	31.469	59.940	25.175	800	525	640	480
3	SVGA 60	800 X 600	37.879	60.317	40.000	1,056	628	800	600
4	XGA 60	1024 X 768	48.363	60.004	65.000	1,344	806	1,024	768
5	WXGA 60	1280 X 768	47.760	60.000	79.998	1,675	796	1,280	768
6	WXGA +60	1440 X 900	55.919	59.999	106.470	1,904	932	1,440	900
7	SXGA 60	1280 X 1024	63.981	60.020	108.000	1,688	1,066	1,280	1,024
8	WSXGA +60	1680 X 1050	65.222	60.002	147.140	2,256	1,087	1,680	1,050
9	WUXGA 60	1920 X 1200	74.038	59.95	154.000	2,080	1,235	1,920	1,200

● PC(D-sub 3列15ピン)

No.	名称	解像度	fh [kHz]	fv [Hz]	dot CLK [MHz]	総ドット数 [dot]	総ライン数 [line]	有効ドット数 [dot]	有効ライン数 [line]
1	VGA 60	640 X 480	31.500	60.000	25.175	800	525	640	480
2	VGA 72	640 X 480	37.900	72.000	31.500	832	520	640	480
3	VGA 75	640 X 480	37.500	75.000	31.500	840	500	640	480
4	VGA 85	640 X 480	43.300	85.000	36.000	832	509	640	480
5	SVGA 56	800 X 600	35.200	56.000	36.000	1024	625	800	600
6	SVGA 60	800 X 600	37.900	60.000	40.000	1056	628	800	600
7	SVGA 72	800 X 600	48.100	72.000	50.000	1040	666	800	600
8	SVGA 75	800 X 600	46.900	75.000	49.500	1056	625	800	600
9	SVGA 85	800 X 600	53.700	85.000	56.250	1048	631	800	600
10	XGA 60	1024 X 768	48.400	60.000	65.000	1344	806	1024	768
11	XGA 70	1024 X 768	56.500	70.000	75.000	1328	806	1024	768
12	XGA 75	1024 X 768	60.000	75.000	75.750	1312	800	1024	768
13	XGA 85	1024 X 768	68.700	85.000	94.500	1376	808	1024	768
14	WXGA 60	1280 X 768	47.760	60.000	79.998	1675	796	1280	768
15	WXGA+ 60	1440 X 900	55.919	59.999	106.470	1904	932	1440	900
16	SXGA 60	1280 X 1024	64.000	60.000	108.000	1688	1066	1280	1024
17	SXGA+ 60	1400 X 1050	63.981	60.020	108.000	1688	1066	1400	1050
18	WSXGA+ 60	1680 X 1050	65.222	60.002	147.140	2256	1087	1680	1050
19	1920x1080 60	1920 X 1080	67.500	60.00	148.500	2200	1125	1920	1080
20	MAC13"	640 X 480	35.000	66.667	30.240	864	525	640	480
21	MAC16"	832 X 624	49.107	75.087	55.000	1120	654	832	624
22	MAC19"	1024 X 768	60.241	74.927	80.000	1328	804	1024	768

接続について（つづき）

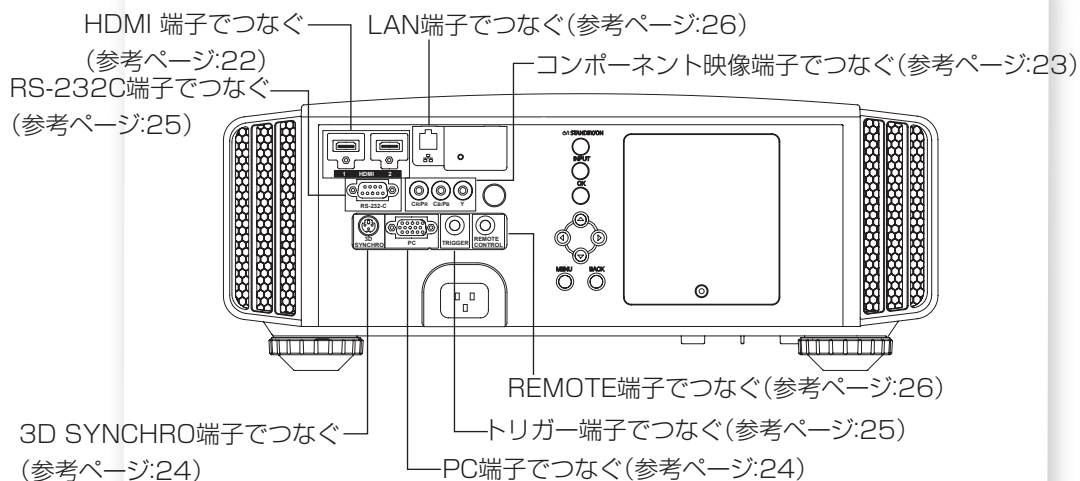
機器との接続

- 接続が終わるまで、電源を入れないでください。
- ご使用の機器によって接続のしかたが異なります。 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- 当機は映像を投写するものですので、接続する機器の音声出力は他のアンプやスピーカーなどの音声出力機器に接続してください。
- 接続する機器やケーブル、コードによっては、映像が表示されない場合があります。
HDMI ケーブル(別売)は、HDMI 規格を取得したものを使用してください。
- 接続するケーブル、コードの端子カバーサイズによっては、接続ができない場合があります。

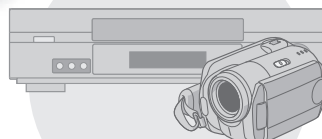
BD/DVD レコーダー



BD/DVD プレーヤー



パソコン



ビデオデッキや
ビデオカメラ

接続について（つづき）

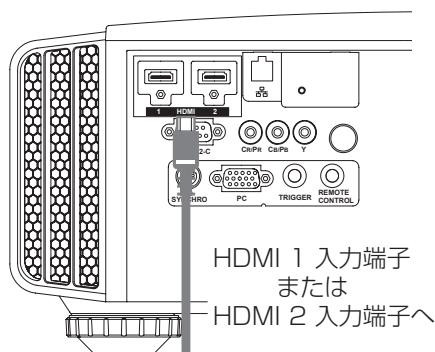
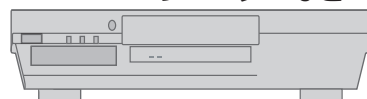
■ HDMI ケーブルでつなぐ

本機側

ノートパソコンなど



BD/DVD レコーダーなど



HDMI ケーブル(別売品)

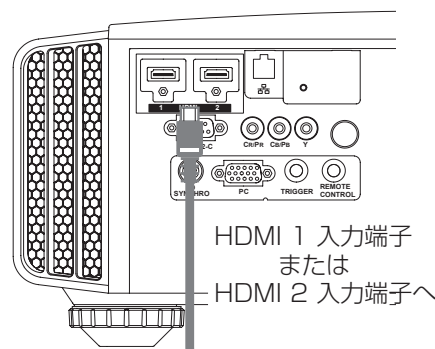
HDMI 出力端子

- ノイズが出る場合は、PC(ノートパソコンなど)を本機からはなしてください。
- HDMI規格を取得した転送帯域が340MHzのケーブルをお勧めします。転送帯域が75MHzのケーブルを使用の場合は送信側機器で1080i以下にする事をお勧めします。
- 映像が表示されない場合はケーブル長さを短くするか、映像の解像度を送信側機器で下げることをお勧めします。

■ HDMI-DVI 変換ケーブルでつなぐ

本機側

デスクトップパソコンなど



HDMI-DVI 変換ケーブル(別売品)

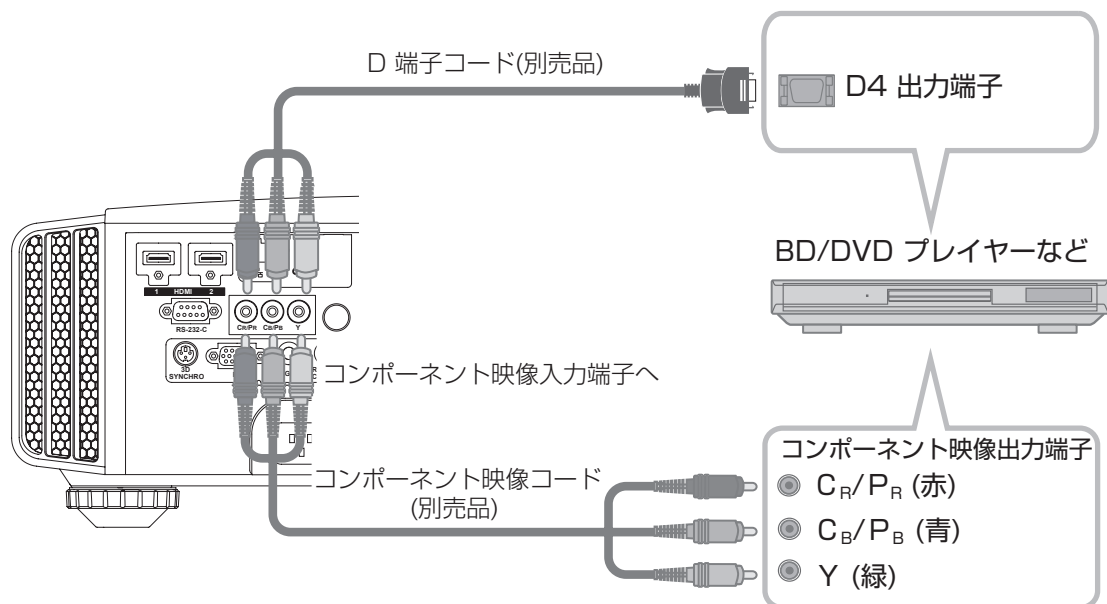
DVI 出力端子

- ノイズが出る場合は、PC(デスクトップパソコンなど)を本機からはなしてください。
- 映像が表示されない場合はケーブル長さを短くするか、映像の解像度を送信側機器で下げることをお勧めします。

接続について (つづき)

■ コンポーネント映像コードや D 端子コードでつなぐ

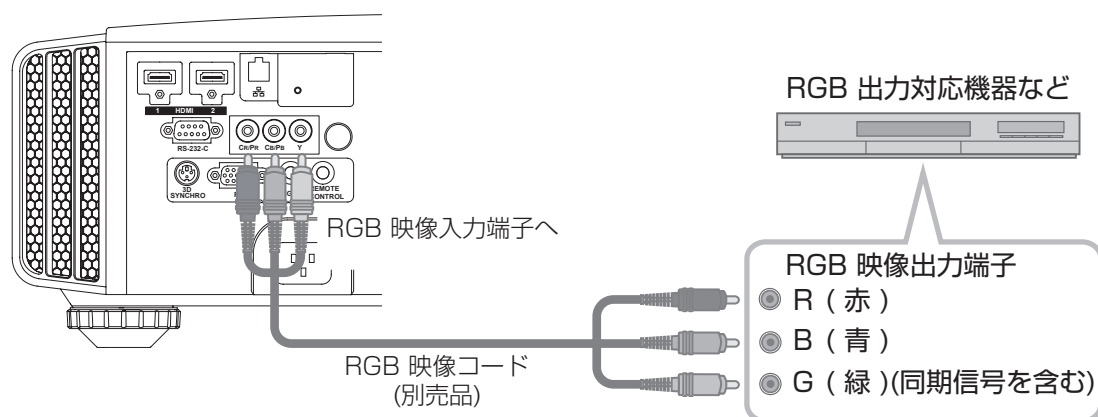
本機側



- 設定メニューの「COMP.」を「Y Pb/Cb Pr/Cr」にしてください。(参考ページ:47)

■ RGB映像コードでつなぐ

本機側



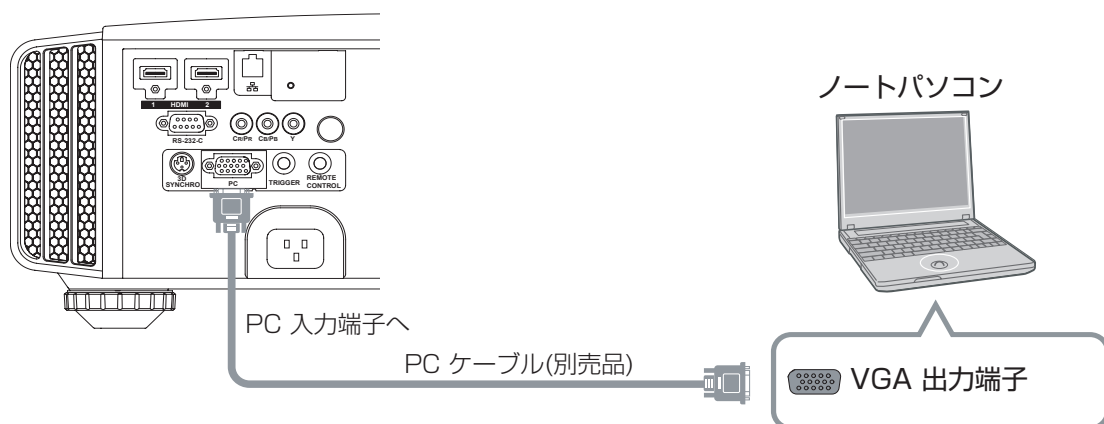
- 設定メニューの「COMP.」を「RGB」にしてください。(参考ページ:47)
- 対応入力信号については「主な仕様」をご覧ください。(参考ページ:77)

準備

接続について（つづき）

■ PCケーブルでつなぐ

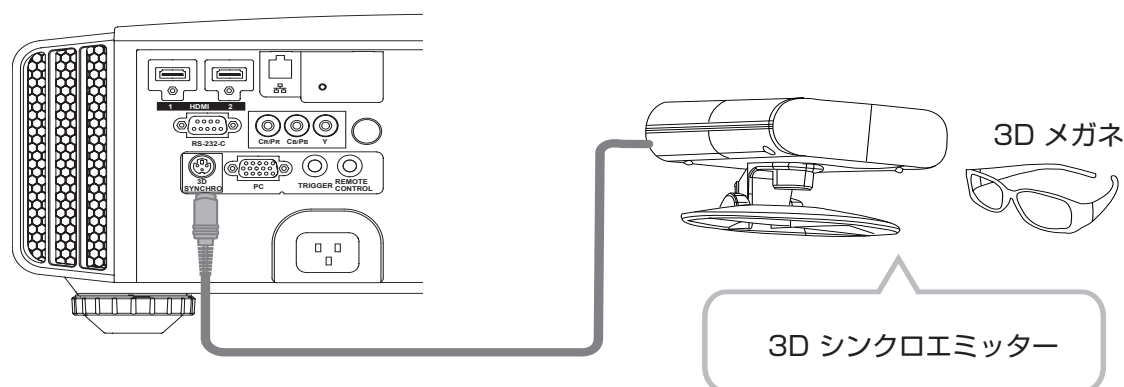
本機側



- 対応入力信号については「主な仕様」をご覧ください。（参考ページ:77）

■ 3D SYNCHRO端子でつなぐ

本機側



- 3Dシンクロエミッター：PK-EM(別売品)の専用端子です。
- 3Dメガネ(PK-AG)は別売品で、3Dシンクロエミッターに付属していません。

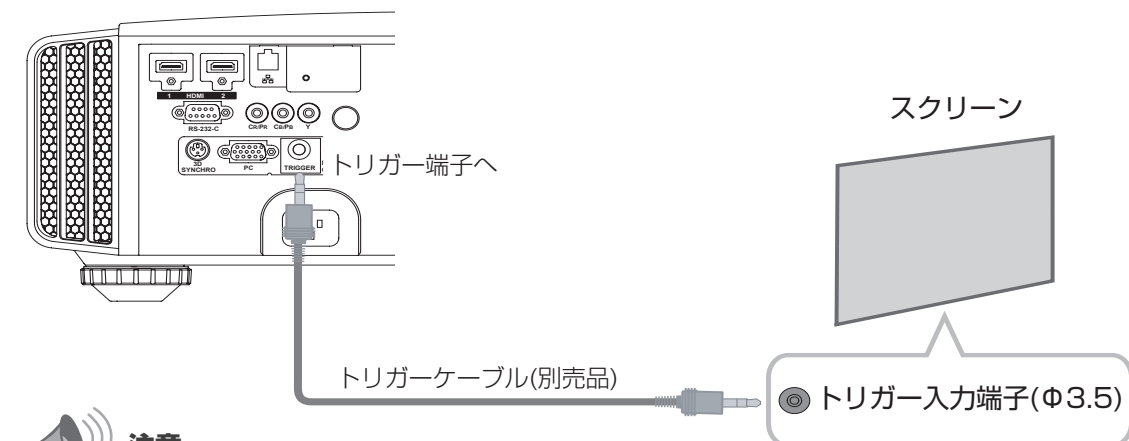


- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、当機の3D機能を利用して2D映像を3Dに変換して表示すると、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがあります。
- 環境温度やランプ使用時間によって3D映像の見え方が変わることがあります。正常に投写されない場合は使用を控えてください。
- 3D映像観賞する前に「3D方式の解説」（参考ページ52～54）を読んで鑑賞してください。

接続について（つづき）

■ トリガーケーブルでつなぐ

本機側

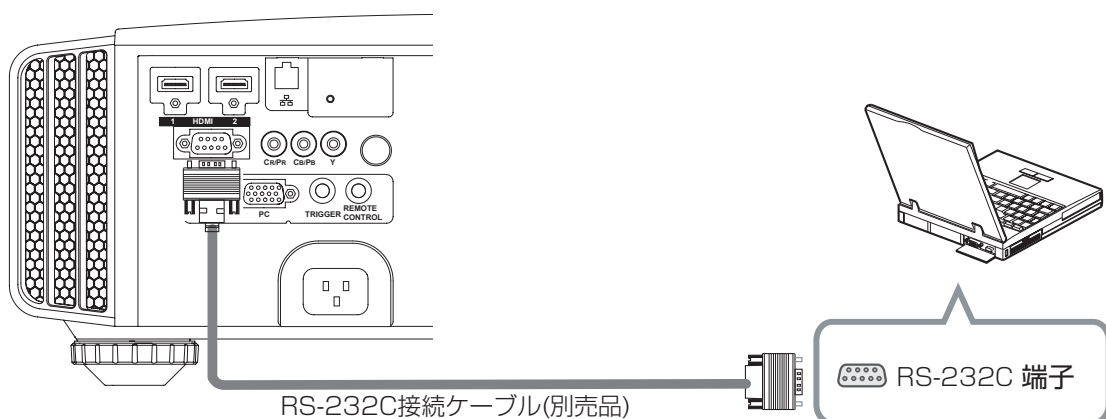


注意

- 他の機器の電源などに使用しないでください。
- 他の機器の音声端子などに接続すると、他の機器の故障や傷害の原因になります。
- 定格を超えて使用すると、故障の原因になります。
- トリガー端子は、12Vの電圧を出力しているため、ショートには十分注意してください。
- 工場出荷時は「出力しない」設定になっています。メニューの[5]「機能」の「トリガー」項目（参照ページ:49）で設定してください。

■ RS-232C 接続ケーブルでつなぐ

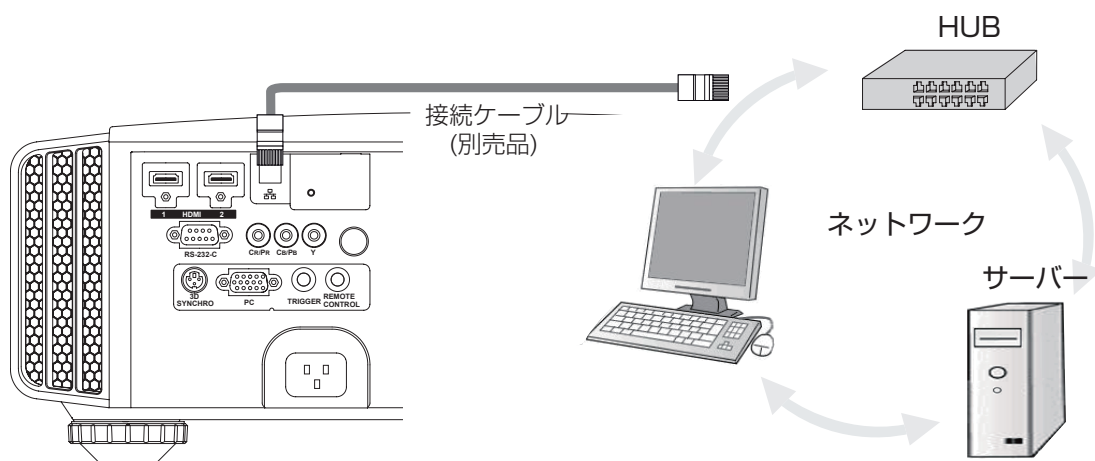
本機側



接続について（つづき）

■ LAN端子でつなぐ

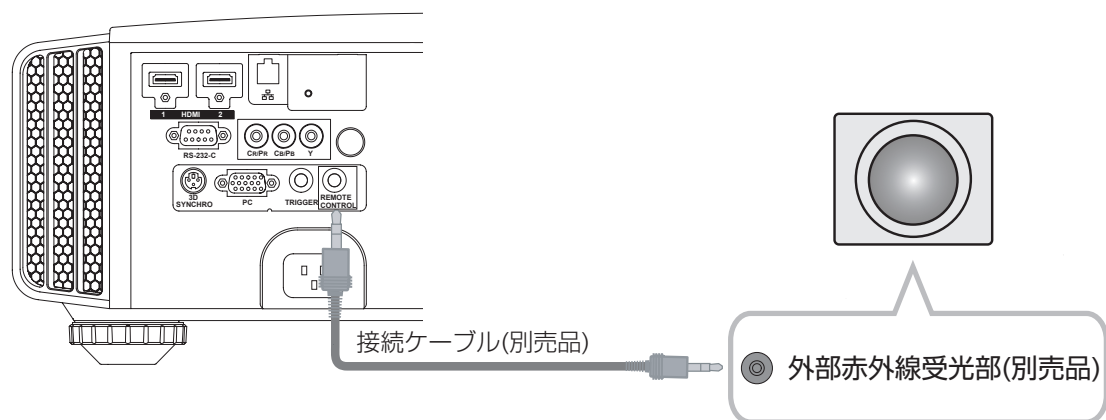
本機側



- ネットワークは本機の制御用に使います。映像信号の送受信をするものではありません。
- ネットワークへの接続はネットワーク管理者にご相談ください。

■ REMOTE 端子でつなぐ

本機側

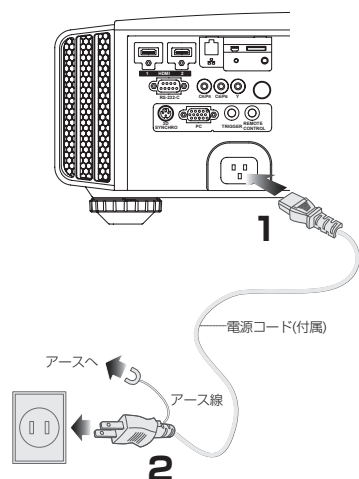


- 外部赤外線受光部および接続ケーブルに関しては、お買い上げの販売店およびビクターサービス窓口にお問い合わせください。

接続について（つづき）

電源コード(付属)の接続

機器の接続が済んだらプロジェクターの電源コードを接続します。



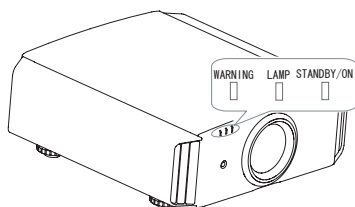
- 1 本体の電源入力端子に付属の電源コードを接続する
- 2 アース線を建物に備えられているアース端子に接続し、付属の電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込む

* アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから外して行ってください。

火災・感電防止の注意



- 本機は電源の容量が大きいため、壁のコンセントへ直接接続してください。
- 機器を使用しないときは、機器の電源コードをコンセントから抜いてください。
- 付属の電源コード以外で接続しないでください。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損します。
- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。

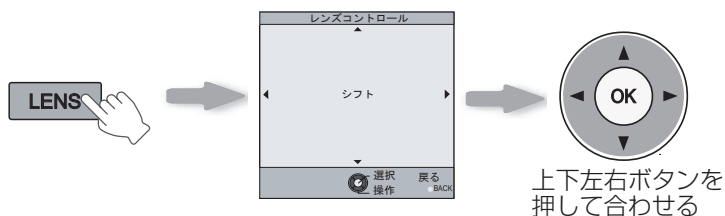


基本的な設定を一度してしまえば、通常は以下の操作だけで本機をお使いになれます。

ON → STANDBY/ON 緑に点灯

-
- 上下ボタンを押して合わせる

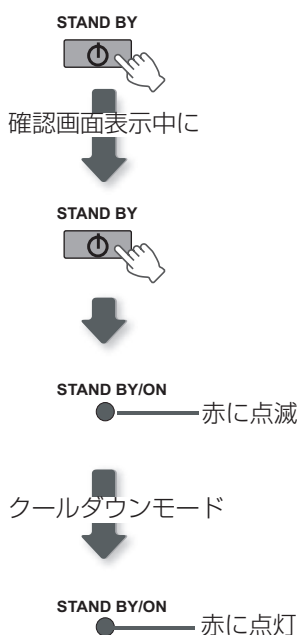
5 シフト(映像の位置)を調整する



- 映像位置を調整したあとに設定メニュー「設置」の「画素調整」が必要になる場合があります。(参考ページ:48)
- **LENS** ボタンを押すごとに、「フォーカス」、「ズーム」、「シフト」が切り換わります。 **OK** ボタンでも切り替わります。

→フォーカス→ズーム→シフト→

6 電源を切る



- 電源を切るときスライドカバーが閉まります。
- 本機の電源を入れて約90秒間は電源を切ることができません。90 秒以上経過してから操作してください。
- 本体の **ON/OFF** ボタンを押しても電源が切れます。(参考ページ:10)
- 長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

MEMO

クールダウンモードについて

- クールダウンモードとは、投写終了後に約60秒間ランプを冷却する機能です。この機能は過熱したランプの熱で本機内部の変形や破損を防いだり、ランプの破裂やランプの寿命が短くなることを防ぎます。
- クールダウンモード中は、[STANDBY/ON] インジケータが赤く点滅します。
- クールダウンモードが終了すると、自動的にスタンバイ状態になります。
- クールダウンモード中は、電源プラグを抜かないでください。ランプの寿命が短くなったり、故障の原因になります。



投写した映像の画面サイズを変更したり、外側部分の画質が劣化した映像の周りを隠すことができます。

- A** 画面サイズを設定する
B 映像の周囲をマスクする
C 映像を一時的に消す
D 台形補正を調整する

投写した映像を最適な画面サイズ(アスペクト比)に設定できます。



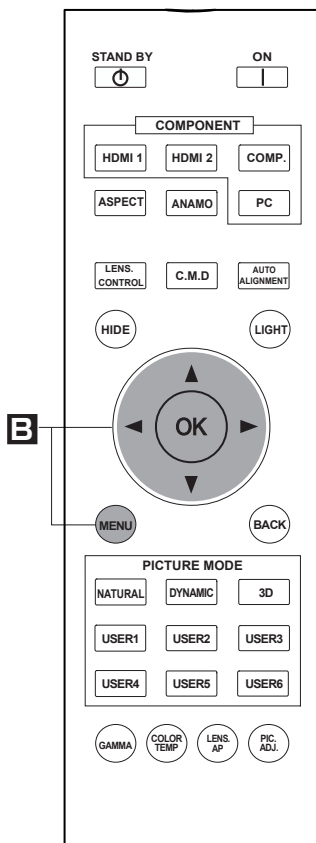
- 画面サイズは、設定メニューの「アスペクト」からも設定することができます。(参考ページ:45)
- PC信号を入力したときは、「アスペクト(PC)」の設定になります。(参考ページ:45)

入力映像	画面サイズ		
	4:3	16:9	ズーム
SDTV(4:3)	アスペクト比：同じ 最適な画面サイズ	アスペクト比：横長 映像が横伸びになる	アスペクト比：同じ 映像の上下が欠ける
SDTV(4:3) DVDソフトなどの 横長(上下に黒帯) に記録されている 映像	アスペクト比：同じ 映像が大きく映らない	アスペクト比：横長 映像が横伸びになる	アスペクト比：同じ 最適な画面サイズ

- 入力映像によっては、「4:3」で縦長映像となり、「16:9」に設定することで最適な画面サイズになる場合があります。
- 3D信号入力時には、「16:9」に固定となります。

MEMO

- HD映像を入力したときの
み、マスクを設定できます。



B 映像の周囲をマスクする

外側部分の画質が劣化している映像を投写する場合、映像の周囲を黒くマスク(隠す)することができます。

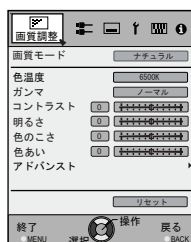
1 映像を投写します



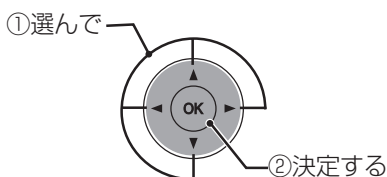
← 外側部分の画質が劣化している映像

2 映像をマスクします

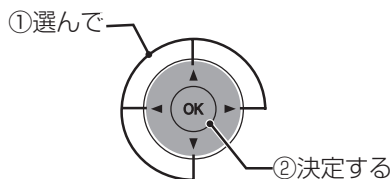
1 設定メニューを表示します



2 「入力信号」⇒「画面マスク」を選びます



3 マスクの値を設定します



《例》

「画面マスク」の値を
「オフ」⇒「5%」に
変更した場合



3 終了します



操作



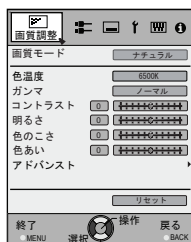
D

映像を一時的に消すことができます。

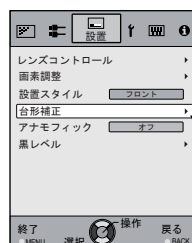
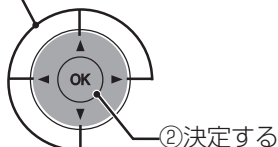
  **STANDBY/ON** ●映像を消している間
緑に点滅

- もう一度 **HIDE** ボタンを押すと、映像が表示されます。
- 映像を一時的に消しているときは、電源を切ることができません。

投写面に対して、プロジェクターを斜めに設置した場合に発生する台形ひずみを補正します。



①選んで



台形補正モードでカーソル(上下左右矢印)を押して、台形ひずみを調整できます。

左右カーソルで横方向のひずみを調整する。



上下カーソル
で縦方向のひ
ずみを調整する。



- 3D信号入力時には、調整できません。また、台形補正を調整していても、3D信号入力時には台形補正が解除されます。

メニューで行う調整と設定

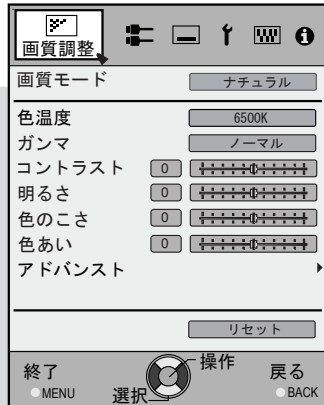
メニュー階層の構成(一覧)

本機のメニューは次のような構成になっています。

ここでは概略のガイドラインを記載しておりますので設定によっては表示されない項目も図中に記載されています。詳細は「メニュー項目の解説」(参考ページ:41以降)をお読み下さい。

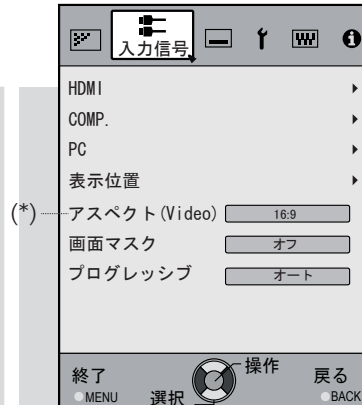
サブメニューの記載がない項目でも、調整用の子画面に移行します。

[1] 画質調整



「[1] 画質サブメニューの階層と構成」へ

[2] 入力信号



(*)PC信号入力する時に「アスペクト(PC)」が表示されます。

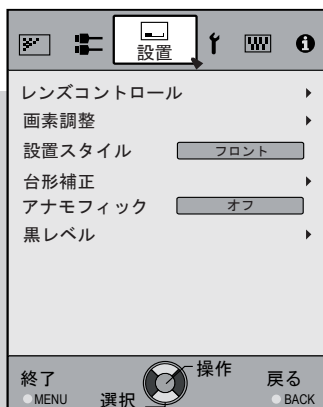
「[2] 入力信号サブメニューの階層と構成」へ

次へ続く

操作

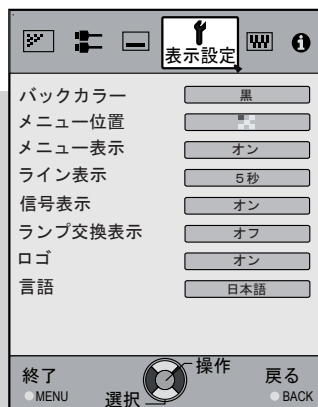
メニューで行う調整と設定(つづき)

[3] 設置



前ページから

[4] 表示設定



次へ続く



「[3] 設置サブメニューの
階層と構成」へ

メニューで行う調整と設定(つづき)

[5] 機能



[6] 情報



前ページから



PC信号入力する場合



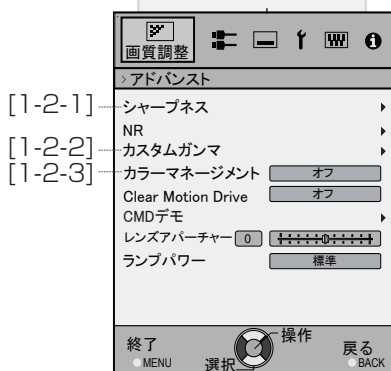
「[5] 機能サブメニューの
階層と構成」へ

操
作

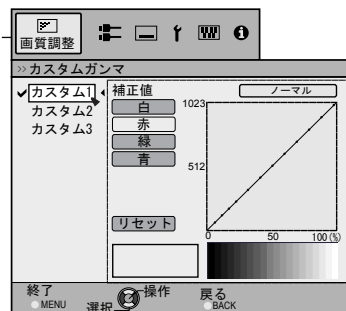
[1] 画質調整



[1-2] アドバンスド



[1-2-2] カスタムガンマ

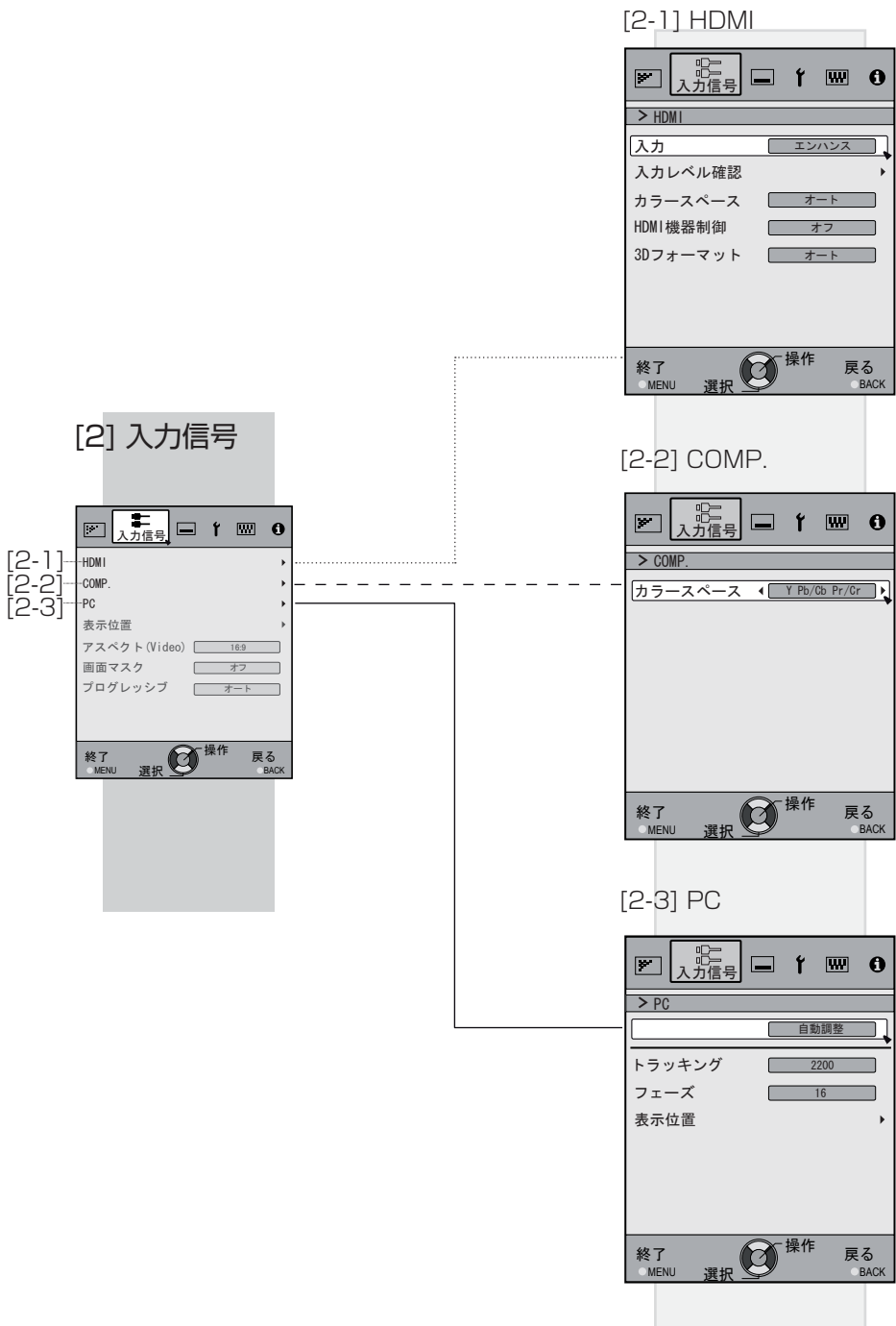


[1]-2-3] カラーマネジメント



メニューで行う調整と設定(つづき)

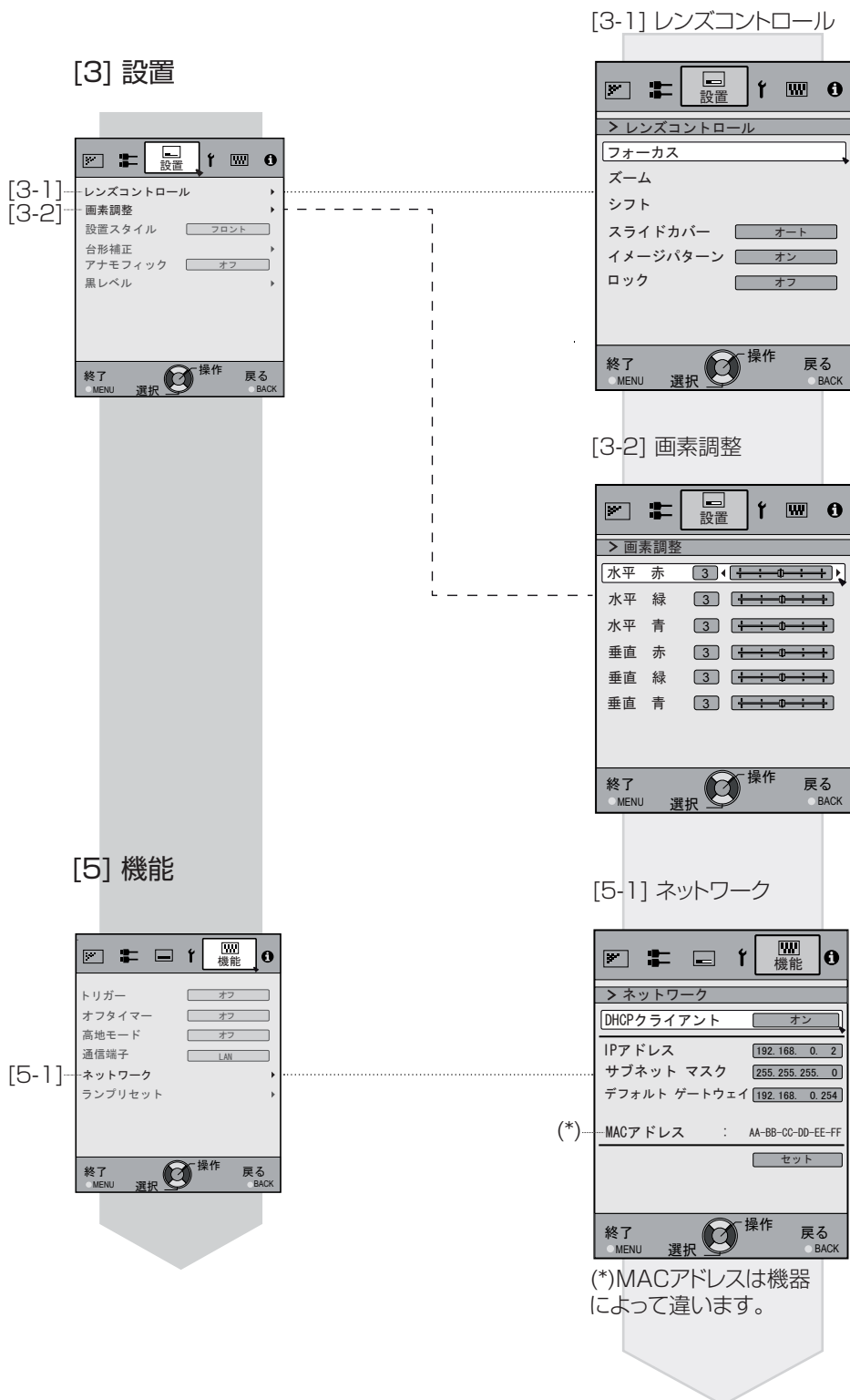
[2] 入力信号サブメニューの階層と構成



操作

メニューで行う調整と設定(つづき)

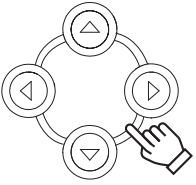
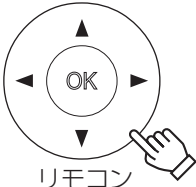
[3]設置と[5]機能のサブメニューの階層と構成

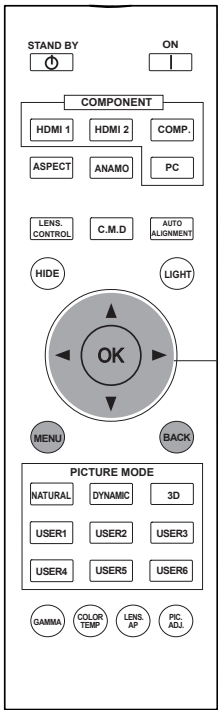
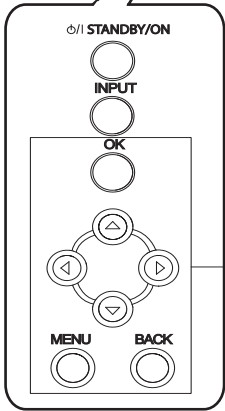
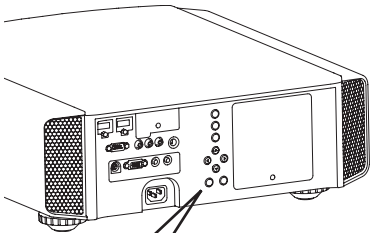


メニューで行う調整と設定(つづき)

メニュー操作のボタン

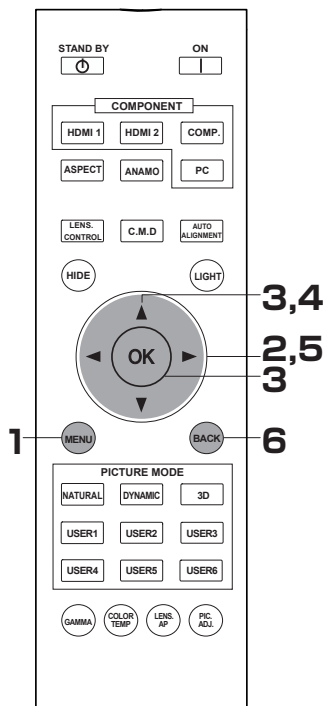
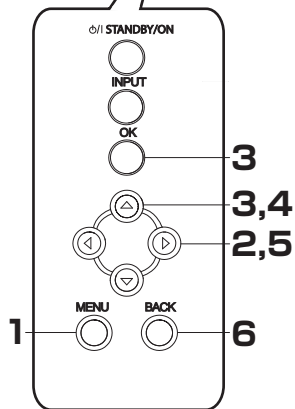
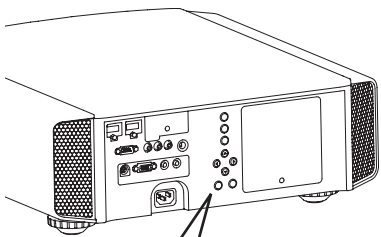
メニューは本体またはリモコンの次のボタンを使って操作します。

ボタン		機能
本体	リモコン	
MENU	MENU	メニューを表示します。 ●メニュー表示中は、メニュー画面を消します。
OK	OK	「メインメニュー」(階層1)表示中は選択中の項目を確定し、「サブメニュー」(階層2)を表示します。 サブメニュー表示では、OKキーを押して、表示されている選択中の項目を「設定画面」(階層3)に移行します。
BACK	BACK	ひとつ前のメニュー画面に戻る。 メインメニュー画面表示中はメニュー画面を消します。
 本体	 リモコン	メインメニューとサブメニュー表示中は ◀▶: メニュー上の調整項目を選びます。 選んだ調整項目の設定値を設定します。調整した設定値は、すぐに映像に反映されます。 ▼▲: 表示されているサブメニューの項目を選びます。 メニュー上の項目を選びます。



操作

メニューで行う調整と設定(つづき)

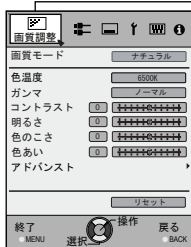


メニュー操作の手順

1 MENUを押す

スクリーンにメインメニューが表示されます。

現在選択中のサブメニューの項目が表示されます。現在選択中のメニュー項目はハイライト表示されアイコンに橙色が付きま



現在選択中のサブメニューの項目が表示されます。

例:画質調整

2 カーソル(◀/▶)を押して、サブメニューを選ぶ

- サブメニュー(画質調整、入力信号、設置、表示設定、機能、情報)を選択します。
- 「情報」を選んだときは、メニュー下側に現在選択中の映像入力やパソコン入力の情報が表示されます。

3 OKまたはカーソル(▲/▼)を押す

- サブメニューの項目が表示されます。
- 入力信号と画質モードによってサブメニューの項目が異なります。詳しくは、次ページの「メニューの内容」をご覧ください。



例:PC信号以外入力する場合



例:PC信号入力する場合

4 カーソル(▲/▼)を押して、調整する項目を選ぶ

サブメニューの項目名が薄く表示されているものは選択できません。

5 カーソル(◀/▶)を押して、設定値を変更する

6 調整が終わったら、BACKを押す

押すたびに、ひとつ前のメニュー画面に戻ります。

7 手順2から6を繰り返し、他の項目も調整します

調整がすべて終わったら

MENUを押して、スクリーンからメニューが消えます。

メニューで行う調整と設定(つづき)

メニュー項目の解説

各項目の[]内の数値は、工場出荷時の設定です。

- メニュー表示中にOK・BACKまたはカーソル(上下左右矢印)を押してメニューを操作することができます。
- 入力信号の種類や無信号もしくはメニューで選択した項目によって表示項目が異なります。

[1] 画質調整

画質モード	各モードの解説を参考にして、お好みのモードに合わせてお使いください。 また、ユーザー 1、2、3、4、5、6 でお好みの画質に調整する事もできます。 設定値:ナチュラル、ダイナミック、3D、ユーザー 1、ユーザー 2、ユーザー 3、 ユーザー 4、ユーザー 5、ユーザー 6 [ナチュラル]
ナチュラル	自然な色彩・階調の画質設定です。ドラマなどビデオ素材の鑑賞に適しています。
ダイナミック	リビングなど、完全に暗室にできない環境で映像を楽しむ画質設定です。
3D	3D映画の鑑賞に適した画質設定です。
ユーザー 1	ユーザー 1、ユーザー 2、ユーザー 3、ユーザー 4、ユーザー 5、ユーザー 6
ユーザー 2	は画質をお好みに応じて調整してください。調整最後の状態のデータが保存され
ユーザー 3	ます。
ユーザー 4	
ユーザー 5	
ユーザー 6	
色温度	色温度を設定できます。 サブメニューの「[1-1]色温度」へ
ガンマ	ガンマ曲線を設定できます。お好みに合わせて設定してください。 設定値:ノーマル、A(3D)、B(3D)、A、B、C、D、カスタム1、カスタム2、 カスタム3 [ノーマル]
ノーマル	通常はこれに設定しておく事をお薦めします。 (*)「画質モード」が「3D」の時は表示されません。
A(3D)	A(3D)、B(3D)は「画質モード」が「3D」の時のみに設定できます。
B(3D)	3D用の標準ガンマカーブです。
A	A(3D)より明るくなります。
B	A、B、C、Dは「画質モード」が「3D」の時は設定できません。
C	ノーマルのガンマに対して、階調を重視したガンマカーブです。
D	フィルムのS字曲線のガンマカーブです。
カスタム1	Bのガンマに対して、よりコントラスト感を強調したガンマカーブです。
カスタム2	ノーマルに対して、中間階調が明るく見えるガンマカーブです。
カスタム3	カスタム1、2、3は「画質モード」が「3D」の時は設定できません。 サブメニュー「[1-2-2]カスタムガンマ」でお好みのガンマ曲線に変更し、 保存することができます。カスタム1、2、3の初期値は「ノーマル」と同じです。
コントラスト	映像のコントラストを調整します。 設定値:(黒っぽく) -50 ~ 50 (白っぽく)
明るさ	映像の明るさを調整します。 設定値:(暗く) -50 ~ 50 (明るく)
色のこさ	映像の色の濃さを調整します。 設定値:(薄く) -50 ~ 50 (濃く)
色あい	映像の色合いを調整します。 設定値:(赤っぽく) -50 ~ 50 (緑っぽく)
アドバンスト	輪郭の補正、カスタムガンマ、カラーマネジメントなどの機能が設定できます。 サブメニューの「[1-2]アドバンスト」へ
リセット	設定値を工場出荷状態にします。

メニューで行う調整と設定(つづき)

[1-1] 色温度

	映像の色温度を設定します。お好みに合わせて調整してください。 (*)この設定値は「画質モード」によって設定できる項目が変わります。 設定値:(プリセット値)、明るさ優先、カスタム1、カスタム2、カスタム3 [(プリセット値)]	
(プリセット値)	色温度を5500K、6500K、9500Kから選択することができます。 6500Kがバランスの良い映像とされています。	
	設定値: (赤っぽい) 5500、6500、9500 (青っぽい)	[6500]
明るさ優先	最も明るい映像にしたいときに設定します。	
カスタム1	(*)「画質モード」が「ナチュラル」、「3D」の時は設定できません。	
カスタム2	映像の色温度を調整してカスタム1、2、3のそれぞれに保存できます。お好みの調整値を保存してお楽しみください。	
カスタム3		
ゲイン	映像の明るい部分を色ごとに調整ができます。	
赤	設定値:(赤を弱く) -255 ~ 0 (赤を強く)	[0]
緑	設定値:(緑を弱く) -255 ~ 0 (緑を強く)	[0]
青	設定値:(青を弱く) -255 ~ 0 (青を強く)	[0]
オフセット	映像の暗い部分を色ごとに調整ができます。	
赤	設定値:(赤を弱く) -50 ~ 50 (赤を強く)	[0]
緑	設定値:(緑を弱く) -50 ~ 50 (緑を強く)	[0]
青	設定値:(青を弱く) -50 ~ 50 (青を強く)	[0]

[1-2] アドバンスト

シャープネス	シャープネスと高域強調の設定ができます。 サブメニューの「[1-2-1]シャープネス」へ	
NR	映像のノイズを低減します。お好みに合わせて調整してください。	
RNR	映像のランダムノイズ除去の強さを調整します。 設定値:(弱い)0~16 (強い)	[0]
MNR	映像のモスキートノイズ除去の強さを調整します。 (*)「画質モード」が「3D」の時は設定できません。また、HD信号入力時も設定できません。 設定値:(弱い)0~16 (強い)	[0]
BNR	映像のブロックノイズを低減します。 (*)「画質モード」が「3D」の時は設定できません。また、HD信号入力時も設定できません。 設定値:オン、オフ	[オフ]
カスタムガンマ	ガンマ曲線を設定し、保存できます。お好みに合わせて調整してください。 サブメニューの「[1-2-2]カスタムガンマ」へ	

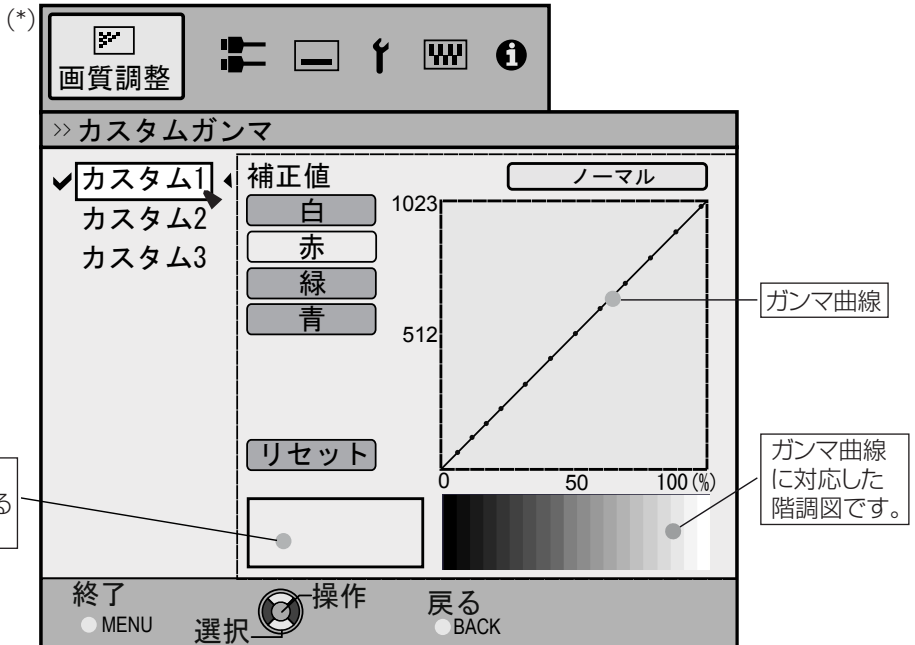
メニューで行う調整と設定(つづき)

カラーマネージメント	画面の色を好みの色に設定し、保存できます。 サブメニューの「[1-2-3]カラーマネージメント」へ	
Clear Motion Drive	動きの速い映像を、残像感の少ないクリアな映像に改善します。 「Clear Motion Drive」について、PC 信号・3D信号では設定できません。 また、シーンによっては映像が乱れたり、明暗の点滅が起こる場合があります。 その場合は「オフ」を選ぶなどして、お好みの設定にしてください。 設定値:オフ、Mode 1、Mode 2、Mode 3、Mode 4、Film Motion	[オフ]
オフ	オフ	
Mode 1	黒挿入弱	
Mode 2	黒挿入強	
Mode 3	補間弱	
Mode 4	補間強	
Film Motion	TV放送やDVDなどの60i/60pの信号で、元の映像が24コマの映画ソースなどを、24コマ表示に変換して表示します。 (*)24pは機能しません。	
CMDデモ	Clear Motion DriveのMode3とMode4の設定の効果を確認することができます。「OK」ボタンを押すごとに、中央で2分割された画面の左・右・上・下に表示されていきます。最後にオフになります。PC信号・3D信号では設定できません。 設定値:左->右->上->下->オフ(「OK」ボタンで変更)	[オフ]
左	左の画面にClear Motion Driveのデモ表示をします。	
右	右の画面にClear Motion Driveのデモ表示をします。	
上	上の画面にClear Motion Driveのデモ表示をします。	
下	下の画面にClear Motion Driveのデモ表示をします。	
オフ	Clear Motion Driveのデモ表示をオフにします。	
レンズアパーチャー	光学アイリスの絞り量を調整します。設定値0は全開状態です。 設定値:(暗く)-15 ~ 0(明るく)	[0]
ランプパワー	明るさを変えることができます。 (*)「高」で使用し続けると、ランプの暗くなる度合いが早くなります。 (*) 発熱により、機器の内部温度を上昇させ、温度に対する余裕度が小さくなります。 (*) ランプ点灯後の約60秒間はランプを消灯できません。 設定値:標準、高	[標準]
標準	通常はこの設定にします。(160W駆動)	
高	部屋が明るくて、映像が見にくいときに設定します。(220W駆動)	
[1-2-1]シャープネス		
シャープネス	映像の輪郭を強調します。お好みに合わせて調整してください。 設定値:0~50(はっきり)	
高域強調	映像の微細な部分をきわだたせます。お好みに合わせて調整してください。 設定値:0~50 (強い)	

メニューで行う調整と設定(つづき)

[1-2-2] カスタムガンマ

カスタム1～3	[1]画質調整の「ガンマ」で選択できるカスタム1、2、3 のガンマ曲線の調整をし、保存することができます。お好みに合わせて調整してください。 (*) カスタム1、2、3の初期値は「ノーマル」と同じです。 (*) メニュー下部にある二つの枠内の図を参考に調整してください。 (*) 調整のヒントとして「ガンマ曲線」(参考ページ:51) をお読みいただくことをお勧めします。
補正值	調整を加える基礎となるガンマ曲線が選択できます。 (*)どの設定値を選択しても、出荷状態では表示されるガンマ曲線は直線となります。 設定値:ノーマル、A、B、C、D (特に暗部～中間部を明るくします) 1.8～2.6 (特に暗部～中間部を暗くします) の範囲で0.1ごとの値 [ノーマル]
ガンマ調整	ガンマ曲線は「緑」を代表させて表示します。「白」「赤」「緑」「青」を選択すると、対応する色の曲線を表示します。 ガンマ曲線上の12個のポイントに左右ボタンでカーソルをあわせ、上下ボタンでポイントを上下に移動させます。
白 赤 緑 青	赤、緑、青を同時に調整できます。 赤のガンマカーブを調整できます。 緑のガンマカーブを調整できます。 青のガンマカーブを調整できます。
リセット	「ノーマル」モードと同じデータにします。 (*)カスタムガンマ調整メニューから抜けるときに、調整値を保存してください。保存しなければ元のデータに戻す事ができます。



メニューで行う調整と設定(つづき)

[1-2-3]カラーマネージメント

カスタム1～3	7軸(赤/オレンジ/黄/緑/シアン/青/マゼンタ)の色を好みの色に設定し、保存できます。例えばバラの花の赤い色のみを変えたいといったときなどです。お好みに合わせて調整してください。調整内容に従って、背景の入力映像も変化します。リモコンの「HIDE」ボタンを押すと調整前の画像が確認できます。
静止	調整中の背景の入力映像を静止映像として表示させることができます。 設定値:オン、オフ [オフ]
オン	入力映像を静止します。
オフ	入力映像の静止をやめます。
色選択	赤、オレンジ、黄、緑、シアン、青、マゼンタの7軸で、色の調整軸を微調整しての色相、彩度、明度を調整し、保存できます。お好みに合わせて調整してください。
軸ポジション	選択した色の更に中心軸の位置を微調整します。 設定値: -30 ～ 30 [0]
色相	色相を調整します。 設定値: -30 ～ 30 [0]
彩度	彩度を調整します。 設定値:(くすんだ色) -30 ～ 30 (あざやかな色) [0]
明るさ	明るさを調整します。 設定値:(暗い色) -30 ～ 30 (明るい色) [0]

[2]入力信号

HDMI	サブメニューの「[2-1]HDMI」へ HDMI端子を選択しているときに設定できます。
COMP.	サブメニューの「[2-2]COMP.」へ COMP.端子を選択しているときに設定できます。
PC	サブメニューの「[2-3]PC」へ PC端子を選択しているときに設定できます。
表示位置	水平・垂直の同期信号のタイミングにより画の端が少し欠けている現象が起きたときに調整してください。表示位置の値は、入力信号によって異なります。 (*)入力信号によっては映像がすべて表示されない場合があります。 (*)3D信号入力時には調整できません。
水平位置	水平方向の画の位置合わせをします。
垂直位置	垂直方向の画の位置合わせをします。
アスペクト(Video)	(*)Video信号入力時に表示されます。 (*)3D設定のときは16:9に固定されます。 設定値:4:3、16:9、ズーム [16:9]
4:3	映像の画面サイズを4:3 にします。HD信号は左右が縮小されます。
16:9	映像の画面サイズを16:9 にします。SD信号は左右が拡大されます。
ズーム	映像をズームします。(*)HD 信号では選択できません。
アスペクト(PC)	PC信号入力時の映像の画面サイズを設定します。 (*)PC信号入力時に表示されます。 設定値:オート、1:1、フル [オート]
オート	映像画面を表示範囲の中央におき、画面いっぱいになるようにします。 映像の画面サイズによって、左右に黒帯が描画されます。
1:1	映像の画面サイズを、入力映像の大きさで表示します。入力映像によって画面が小さくなったり、画面外に入力映像の一部がはみ出すことになります。
フル	映像の画面のアスペクト比を保持しないで画面いっぱいに表示します。

メニューで行う調整と設定(つづき)

画面マスク	画面の上下左右の端部を黒いマスクで覆い隠します。上下左右を個別に調整することもできます。お好みに合わせて調整してください。 設定値: オフ、2.5%、5%、カスタム [オフ]
オフ	マスクしません。
2.5%	映像の周囲を元映像に対し約2.5%のマスクをします。
5%	映像の周囲を元映像に対し約5%のマスクをします。
カスタム	
左	映像の左部を元映像に対し約5%までマスクします。 設定値:0 ~ 48 [0]
右	映像の右部を元映像に対し約5%までマスクします。 設定値:0 ~ 48 [0]
上	映像の上部を元映像に対し約5%までマスクします。 設定値:0 ~ 28 [0]
下	映像の下部を元映像に対し約5%までマスクします。 設定値:0 ~ 28 [0]
プログレッシブ	インターレース信号(480i/576i/1080i)をプログレッシブ信号に変換します。インターレース信号の映像を周辺映像から補間します。お好みに合わせて設定してください。 設定値:オート、オフ [オート]
オート	フィルム映画にみられる24p画像をインターレース変換した信号か、元からビデオ素材などのインターレース信号のものを自動で判別して映像の補間をします。
オフ	ビデオ素材などのインターレース信号として映像の補間をします。

[2-1] HDMI

入力	(*)HDMI端子を選択しているときに設定できます。 入力映像のダイナミックレンジ(階調)を設定します。レンジが合っていないと明るい部分や暗い部分が、明るくなったり暗くなったりします。入力信号のダイナミックレンジが不明の場合は「入力レベル確認」で確認してください。 設定値:スタンダード、エンハンス、Super White [エンハンス]
スタンダード	入力映像の階調レベルのダイナミックレンジが16-235である場合に設定します。ビデオ信号の場合はこちらを設定してください。
エンハンス	入力映像の階調レベルのダイナミックレンジが0-255である場合に設定します。PC信号の場合はこちらを設定してください。
Super White	入力映像の階調レベルのダイナミックレンジが16-255である場合に設定します。Super Whiteに対応したDVD/BDなどを、Super White対応映像機器で出力される場合に設定してください。
入力レベル確認	入力信号のダイナミックレンジの確認ができます。図のようなパターンが画面の4隅と中央に表示されます。入力信号のダイナミックレンジをこのパターン図と比較し、確認してください。 (*)図中内の数字は階調レベルです。図中の塗りつぶしによる階調表現は説明のために強調しています。実際の階調レベルと違います。
0235 25516	
カラースペース	入力信号の色空間を設定します。 設定値:オート、YCbCr(4:4:4)、YCbCr(4:2:2)、RGB [オート]
オート	YCbCr(4:4:4)、YCbCr(4:2:2)、RGB信号を自動で判別し設定します。
YCbCr(4:4:4)	YCbCr(4:4:4)映像信号を入力するときに設定します。
YCbCr(4:2:2)	YCbCr(4:2:2)映像信号を入力するときに設定します。
RGB	RGB映像信号を入力するときに設定します。
HDMI機器制御	HDMI 機器制御の通信を設定します。 設定値:オン、オフ [オフ]

メニューで行う調整と設定(つづき)

3Dフォーマット	3Dの入力信号のフォーマットを設定します。 信号によっては、信号自体に3Dの情報が付いていないために、通常の2D信号として認識し、正常に投写されない場合があります。この場合は手動で設定してください。 (*)3D映像観賞前に「3Dについて」(参考ページ:52)を読むことをお勧めします。 設定値:オート、Frame Packing、Side by Side、Top and Bottom、2D [オート]
オート	自動で設定します。
Frame Packing	3Dの入力信号がフレームパッキング方式の場合に選択します。
Side by Side	3Dの入力信号がサイドバイサイド方式の場合に選択します。
Top and Bottom	3Dの入力信号がトップアンドボトム方式の場合に選択します。
2D	2D信号として投写します。

[2-2]COMP.

	(*)COMP.端子を選択しているときに設定できます。
カラースペース	コンポーネント入力端子の入力信号方式を設定します。 設定値:Y Pb/Cb Pr/Cr、RGB [Y Pb/Cb Pr/Cr]
Y Pb/Cb Pr/Cr	コンポーネント映像入力信号のときに設定します。
RGB	RGB映像入力信号のときに設定します。

[2-3]PC

	(*)PC端子を選択しているときに設定できます。
自動調整	トラッキング、フェーズ、表示位置を自動調整します。
トラッキング	映像の横方向のサイズと表示領域を調整します。 (信号により異なりますが、通常は調整する必要はありません。)
フェーズ	映像のちらつきやぼやけを調整します。 (信号により異なりますが、通常は調整する必要はありません。)
表示位置	映像の表示位置を調整します。
水平	映像の水平位置を調整します。
垂直	映像の垂直位置を調整します。

[3]設置

レンズコントロール	サブメニューの「[3-1]レンズコントロール」へ
画素調整	サブメニューの「[3-2]画素調整」へ
設置スタイル	プロジェクターの投写状態に合わせて、上下左右の反転/正転を切り替えます。 設定値:フロント、天吊り(フ)、リア、天吊り(リ) [フロント]
フロント	正立・前面の投写モード
天吊り(フ)	天吊・前面の投写モード
リア	正立・背面の投写モード
天吊り(リ)	天吊・背面の投写モード
台形補正	投写面に対して、プロジェクターを斜めに設置した場合に発生する台形ひずみを補正します。 (*)シフト調整が0%以外の位置では、台形補正したときに影像がスクリーンにきちんとおさまらない場合があります。 (*)3D信号入力時には調整できません。
水平	水平台形ひずみを調整します。 設定値:-40 ~ 40 [0]
垂直	垂直台形ひずみを調整します。 設定値:-30 ~ 30 [0]

メニューで行う調整と設定(つづき)

アナモフィック	映像をパネル解像度の高さ方向に引き伸ばして投写します。横方向に引き伸ばすアナモフィックレンズを使用する場合に設定します。 (*)3D信号入力時には、アナモフィックモードを設定出来ません。 アナモフィックモードをA又はBに設定している時に3D信号が入ると、アナモフィックモードは自動的にOFFになります。 設定値:A、B、オフ	[オフ]
A	2.35:1の映像をパネル解像度の高さ方向にのみ引き伸ばして投写します。	
B	16:9の映像をパネル解像度の高さ方向を変えずに、横方向を圧縮して表示します。アナモフィックレンズを装着した状態で、2.35:1以外の映像を観賞する時に使用します。	
オフ	2.35:1の映像のまま投写します。(上下左右に黒帯が表示されます)	
黒レベル	室内で使用する時の黒レベルを設定します。 設定値:0 ~ 10	[0]

[3-1]レンズコントロール

	プロジェクターを設置するときにレンズの各電動調整機能を制御します。	
フォーカス	フォーカス調整用の機能です。	
ズーム	ズーム調整用の機能です。	
シフト	シフト調整用の機能です。	
スライドカバー	レンズスライドカバーの機能を、電源に連動させて開閉するか、開けっ放しにするか設定する機能です。 設定値:オート、オープン	[オート]
オート	電源のオン/オフに連動してレンズスライドカバーの開閉を行います。	
オープン	電源のオン/オフに関係なく、レンズスライドカバーをオープンのままにします。	
イメージパターン	フォーカス・ズーム・シフト調整中の投写画像を設定できます。 設定値:オン、オフ	[オン]
オン	調整中はイメージパターンを表示します。上記設定項目に連動してイメージパターンを表示します。	
オフ	イメージパターンを表示せず、外部入力信号を表示します。	
ロック	レンズコントロールのオン、オフを設定します。 設定値:オン、オフ	[オフ]
オン	上記設定項目は調整できません。リモコンの「LENS」ボタンが押された場合、警告メッセージが出ます。	
オフ	レンズコントロールが機能します。	

[3-2]画素調整

	映像の水平方向 / 垂直方向のわずかな色ずれをそれぞれ1 ピクセル単位で微調整します。 (*)画面上の全ての画素を一致させる事はできません。機器によって多少のズレがあります。 (*)映像を左右反転、または上下反転したときは、水平方向、垂直方向が逆になります。 (*)調整するときは、輪郭のはっきりした静止映像で行なってください。 (*)微調整のため、映像によっては調整効果がわかりづらい場合があります。	
水平 赤	(赤を左に移動) 1 ~ 5 (赤を右に移動)	[3]
水平 緑	(赤を左に移動) 1 ~ 5 (赤を右に移動)	[3]
水平 青	(赤を左に移動) 1 ~ 5 (赤を右に移動)	[3]
垂直 赤	(赤を下に移動) 1 ~ 5 (赤を上移動)	[3]
垂直 緑	(緑を下に移動) 1 ~ 5 (緑を上移動)	[3]
垂直 青	(青を下に移動) 1 ~ 5 (青を上移動)	[3]

メニューで行う調整と設定(つづき)

[4]表示設定

バックカラー	入力信号がないときに表示する背景の色を設定します。 設定値:青、黒	[青]
青	背景の色を青にします。	
黒	背景の色を黒にします。	
メニュー位置	メニューの表示位置を設定します。お好みの位置に設定してください。項目を選択した状態で左か右のキーを押すとメニューが移動します。また、[OK]を押すとメニューの位置のイメージ図が表示されます。左右キーで図中のハイライトされた位置が移動します。[OK]を押すとそのハイライトされた位置にメニューが移動します。メニューは右のキーを押すと左上->右上->中央->右下->左下の順で移動し、左上に戻ります。左のキーを押すと逆に移動します。	[左上]
メニュー表示	メニューを表示させたときの時間を設定します。 設定値:15秒、オン	[オン]
15秒	メニュー操作が15秒間ないと、メニュー表示を消します。	
オン	常に表示します。	
ライン表示	入力を切り換えたとき、入力表示をするかしないかを設定します。 設定値:5秒、オフ	[5秒]
5秒	5秒間、表示します。	
オフ	表示しません。	
信号表示	入力を切り換えたとき、信号を表示するかしないかを設定します。 設定値:オン、オフ	[オン]
オン	表示します。	
オフ	表示しません。	
ランプ交換表示	ランプの交換時期がきたとき、表示するかしないかを設定します。 設定値:オン、オフ	[オフ]
オン	表示します。	
オフ	表示しません。	
ロゴ	起動するときに「D-ILA」ロゴを表示するかしないかを設定します。 設定値:オン、オフ	[オン]
オン	5 秒間表示します。	
オフ	表示しません。	

[5] 機能

トリガー	トリガー機能のある外部スクリーンなどへ12V出力の設定をします。 設定値:オフ、オン(電源)、オン(アナモ)	[オフ]
オフ	出力しません。	
オン(電源)	オンした時に、トリガー端子からコントロール信号(12V)を出力します。電源をオフにすると、コントロール信号の出力を止めます。スタンバイ時に、OPERATEボタンを押したときに出力します。冷却後、スタンバイに戻るときに出力を止めます。	
オン(アナモ)	アナモフィックを[オフ]から「A」もしくは「B」に設定したときにコントロール信号(12V)を出力します。アナモフィックを「A」もしくは「B」に設定した状態での動作は「オン(電源)」と同じになります。	
オフタイマー	オフタイマー機能の設定とその時間を設定します。 *無操作の状態が続いた場合に、自動的パワーオフします。 *映像の投写中でも自動的にパワーオフします。 設定値:オフ、1時間、2時間、3時間、4時間	[オフ]

メニューで行う調整と設定(つづき)

オフ	電源を切りません。
1時間	1時間後に自動パワーオフします。
2時間	2時間後に自動パワーオフします。
3時間	3時間後に自動パワーオフします。
4時間	4時間後に自動パワーオフします。
高地モード	気圧の低い場所(海拔900m以上)で使用するときに設定します。 設定値:オン、オフ [オフ]
オン	設定します。
オフ	設定しません。
通信端子	使用する制御端子を設定します。同時には使用できません。 設定値:RS-232C、LAN [RS-232C]
RS-232C	RS-232C端子に設定します。
LAN	LAN端子に設定します。
ネットワーク	サブメニューの「[5-1]ネットワーク」へ 「通信端子」の設定が「LAN」の時に表示されます。
ランプリセット	ランプ使用時間を「0」にリセットします。

[5-1]ネットワーク

DHCPクライアント	DHCPクライアントの設定をします。 設定値:オン、オフ [オフ]
オン	接続するネットワーク内のDHCPサーバーよりIPアドレスなどを自動で取得します。*メニュー内の「セット」で自動取得が開始されます。
オフ	ネットワーク設定を手動で行います。
IPアドレス	IPアドレスを設定します。 [192.168.0.2]
サブネット マスク	サブネット マスクを設定します。 [255.255.255.0]
デフォルト ゲートウェイ	デフォルト ゲートウェイを設定します。 [192.168.0.254]
MACアドレス	本機のMACアドレスを表示します。
セット	[5-1]ネットワークの設定を反映します。

[6] 情報

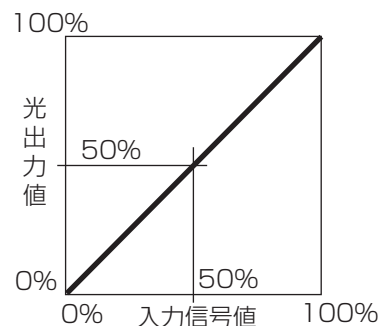
HDMI/COMP.入力時に表示します	
入力	映像入力端子を表示します。
ソース	入力ソース名を表示します。
Deep Color	入力された映像信号について、色のビット深度を表示します。 *YCbCr (4:2:2)を入力したときは、表示しません。 *ソース機器からDeepColorの情報があったときに表示します。
ランプ時間	ランプ使用時間を表示します。
PC入力時に表示します	
入力	映像入力端子を表示します。
解像度	解像度を表示します。
水平周波数	水平周波数を表示します。
垂直周波数	垂直周波数を表示します。
Deep Color	入力された映像信号について、色のビット深度を表示します。 *YCbCr (4:2:2)を入力したときは、表示しません。 *ソース機器からDeepColorの情報があったときに表示します。
ランプ時間	ランプ使用時間を表示します。

操作手引き(用語解説)

ガンマ曲線

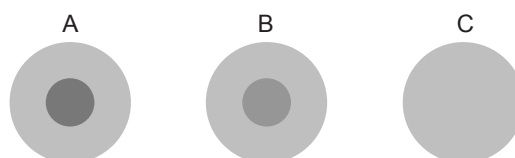
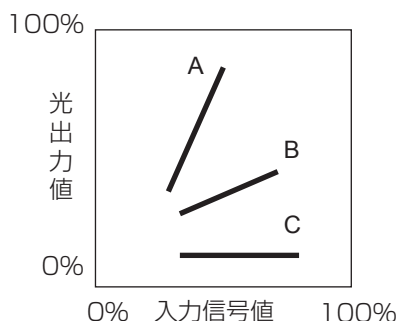
本機を前提にしたガンマ曲線の解説です。詳細な解説は専門書などをお読みください。

ガンマ曲線とはプロジェクターの入力映像信号値に対して、各色毎の光出力値を決める相対曲線です。入力映像信号値は明るさの最大入力信号値に、また、光出力値はプロジェクターの各色の最大光出力値に対する比率で、ともに単位を%で表現します。入力が50%の信号値に対し50%の光出力値で投写します。ただし、光出力値が0%は完全な黒もしくは無投写ではありません。プロジェクターが再現できる可能な限りの黒で、実際はほんの僅かに明るくなります。



プロジェクターで設定できるガンマ曲線は入力映像信号値が0%から100%までの連続した1本の曲線になります。また、入力映像信号値に対し一つの光出力値しかとることは出来ません。ガンマ曲線は赤・緑・青の各色ごとに設定する事ができます。白を選択することで、3色を同時に調整することが出来ます。

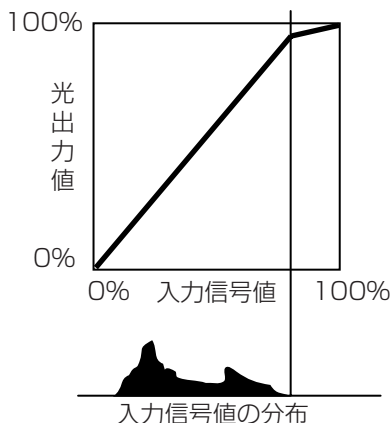
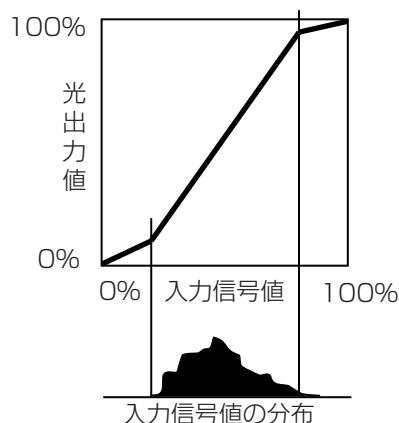
ガンマ曲線の傾斜角を大きくすれば、その領域部分の光出力値の落差が大きくなって映像が判別しやすくなります。逆に傾斜角を小さくすれば、その領域部分の落差は少なくなり映像の判別が難しくなります。傾斜角をとらないで水平にするとその領域部分の落差がなくなり映像が判別できなくなります。



操作

もし仮に、観賞する映像の入力映像信号値の傾向が分かっている場合、その領域部分の傾斜を大きくし、他の領域部分の傾斜を緩めるなどすると映像が判別しやすくなります。また、観賞する映像の入力映像信号値の傾向が分からない場合は調整する事は困難です。しかし、映像コンテンツの種類によってこの入力映像信号値の分布にはある程度の傾向があります。これら代表例を[ガンマ](参考ページ:41)にいくつか準備していますので、相当すると思われるものに設定して鑑賞する事をお勧めします。

いくつか、ガンマ曲線の調整方法について記載しておりますが、実際は赤・緑・青をそれぞれ調整するなど様々な調整方法が考えられます。お客様において、試行錯誤しながら独自の画作りをお楽しみ下さい。



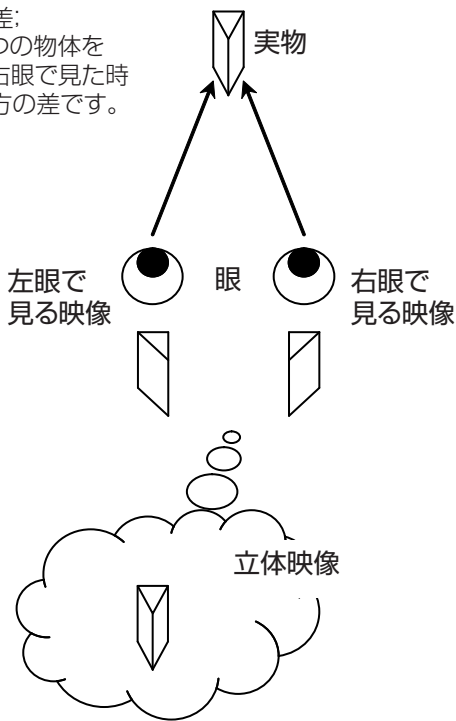
3D方式の解説

本機と、3Dメガネ(別売品:PK-AG)と3Dシンクロエミッター(別売品:PK-EM)を使った3D方式の解説です。3D放送や3D対応ソフトの快適な視聴の目安にしてください。視聴にあたっては3D対応の再生機などが別途に必要です。

3Dの他の方式や詳細な解説は専門書などをお読みください。(解説の為に、誇張や簡略された絵を使用しています。)

本機の3D方式は両眼視差の原理を利用しており、別々に作られた右眼用と左眼用の映像を交互に投射するフレームシーケンシャル方式で投写しています。右眼、左眼に対応した映像のみがそれぞれの眼で見られるように、3Dメガネの左右の液晶シャッターの開閉をコントロールしています。その結果、立体映像として観賞できるようになっています。

両眼視差：
ひとつの物体を
左眼と右眼で見た時
の見え方の差です。



両眼で見える映像の違いなどから脳が立体として総合判断しています。それぞれの眼で見える映像を人為的に制作し、その映像をそれぞれの眼で見せることで、脳で立体像として作り上げるように誘導しており、現実の物体でない、いわゆる虚像を利用しております。

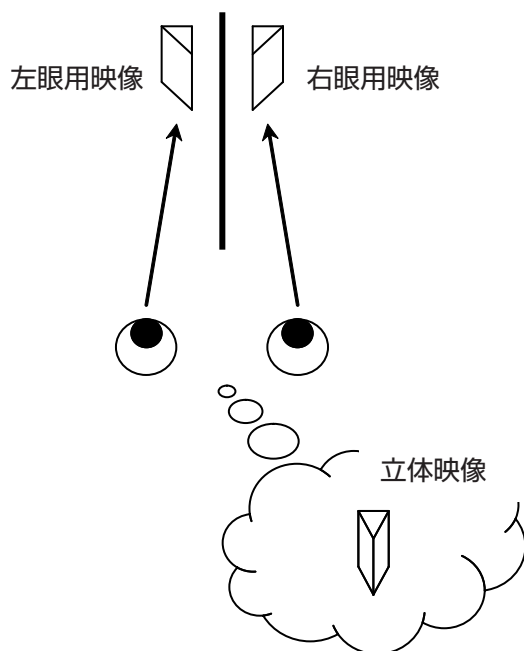


- ・体調不良を起こした場合はすぐに視聴を中止し、必要に応じて医師に相談ください。
- ・光過敏の既往症のある人や、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dメガネ方式である当機の3D映像を視聴しないでください。
- ・定期的に休憩をとることを推奨します。休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。



- ・ 実物に手を伸ばして触ったり、見たりして実際の距離感も含めた総合的な立体感覚を判断する脳の働きは、人の成長と共に発達しますが、幼児期にはまだ未発達の状態です。個人差はありますが5歳未満のお子様はこの発達段階ですので、虚像である3D映像を頻繁に視聴させることは総合的な立体感の発達の障害になることもあります。
- ・ 低年齢のお子様の場合は3D酔いや体調不良などの症状を自覚しないまま見続け、急に体調が悪くなる場合があります。お子様が視聴中の場合は同伴し、お子様の体調や様子などに気を配ってください。

左眼と右眼で見える映像を別々に撮影、もしくは制作します。そして、左眼の映像は左眼に、右眼の映像は右眼にだけ見えるようにします。人の脳はその両方の映像情報を元に、立体映像として認識します。



注意

ほとんどの場合、3D映像の撮影もしくは制作時にはそれぞれの映像が水平に配置されています。視聴時も左右の眼がこれら映像に対し水平でないと、脳は立体映像として認識できずに、そのまま二重映像として認識してしまいます。この映像が3D酔いの発生する原因となりますので、3Dメガネを映像に対し傾けないでください。

立体映像を近くで見ると、両眼視差が大きくなり映像の飛び出し量が大きくなります。一方、ピントはスクリーン面に合うため、飛び出した像とピントが大きく矛盾するために、視覚の疲労や不快感の原因となります。



注意

画面の高さ方向の3倍の距離を保って視聴してください。
例えば投写サイズ120型の場合は4.5m程度、80型で3m程度です。
ページ19に画面サイズと同時に画面の高さを記載した表がありますのでご参照ください。
推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因になることがあります。

その結果、左右の映像がそれぞれの眼に見え、3D映像となります。



右眼用映像

プロジェクター
フレームシーケンシャル
方式による映像投写

閉

聞

3Dメガネ

立体映像

両眼に左右それぞれの映像のみを見せる必要から、本体プロジェクターが映像を表示するタイミングと3Dメガネの液晶シャッターを開閉するタイミングを合わせるため、3Dシンクロエミッターから3Dメガネに赤外線を使ってこのタイミング情報を送信しています。



- ・ 3Dエミッターは、赤外線が直接3Dメガネに届くように3Dメガネを使用する方向に向けてください。
- ・ 以下の場合、正しく動作しないことがあります。
 - ・ 赤外線通信機器や照明機器などが近くにある場合。
 - ・ 3Dメガネが、3Dシンクロエミッターの方向を向いていない場合。
- ・ 3Dエミッターを使用することにより、他の赤外線通信機器の動作に影響を与える場合があります。

メモ

操作

● プロジェクター本体の設置状態が下向き45°以上でご使用の場合、セットに付属していたランプアタッチメントもしくは、別売のランプアタッチメント（PC010685599）を必ずご使用ください。
45°未満の場合はランプアタッチメントを取り付けないようにしてください。

① ランプアタッチメントの"a"部をランプユニット"A"部に挿入し
ランプアタッチメントをランプユニットの爪形状に引っ掛けます

ランプユニット

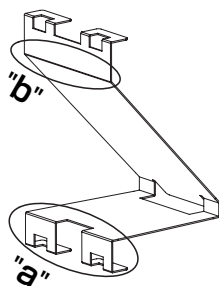
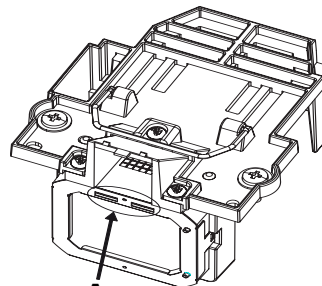


图 1-2



"A" 図2

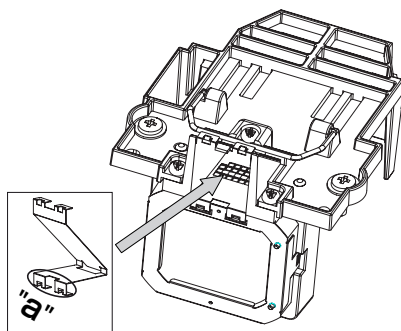


图3



ランプアタッチメントを手順書以外の方向に曲げたり、変形させたり、改造したりすると、ランプアタッチメントが破損したり、破断してプロジェクター本体の故障の原因になります。

また、取り付け取り外しを繰り返すと、「a」部の爪部が破断することがありますので、その時は新たに交換用ランプアタッチメントを購入してご使用ください。「b」部の折れ部は矢印方向に曲げると折れやすいのでご注意ください。

2 ランプアタッチメント"b"部（図1-2参照）を押し込みランプユニットの爪形状にはめ込みます

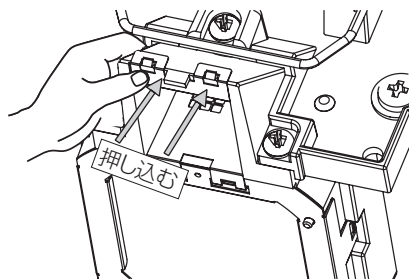


图4

- 3 図5のようにランプアタッチメントがランプユニットの爪に
 勘合しているか確認します

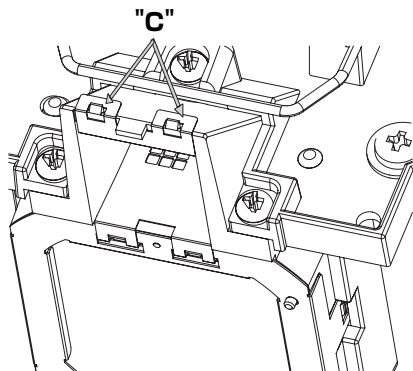


図5

- 4 ランプアタッチメント"c"部（図5参照）をランプユニット
 方向に押し曲げます

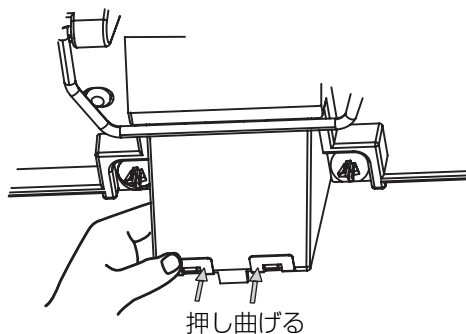


図6

- 5 図7のようにランプアタッチメントがランプユニットの爪
 に勘合していることを確認します

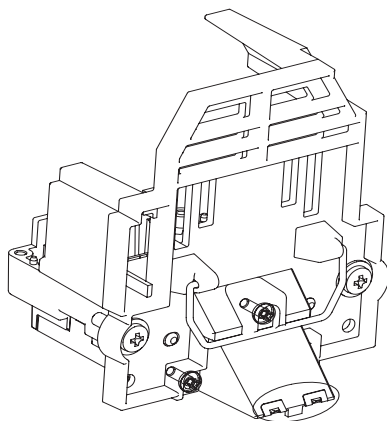


図7

ランプアタッチメントの取り付け・ 取り外し説明（つづき）

- ランプ交換時に、ランプアタッチメントの取り外しを忘れないようにしてください。

ランプアタッチメント取り外しの手順

1 ランプアタッチメントの爪勘合部を垂直に曲げます（図2 参照）

- 垂直に曲げずにはずした場合は、次回取り付け時に取り付けにくくなります。

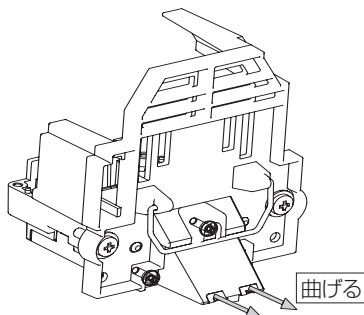


図1

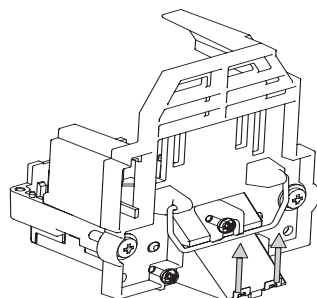


図2

2 ランプアタッチメントとランプユニットの爪勘合部を矢印方向にはずします

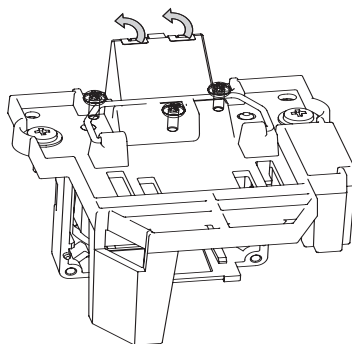


図3

3 ランプアタッチメントが爪からはずれていることを確認します

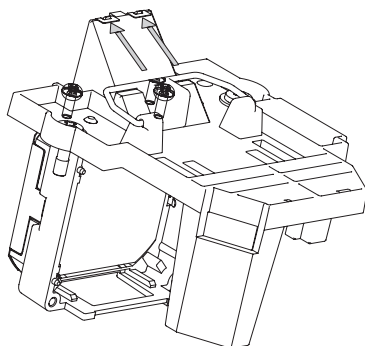


図4

4 逆側のランプアタッチメントとランプユニットの爪勘合部をはずします

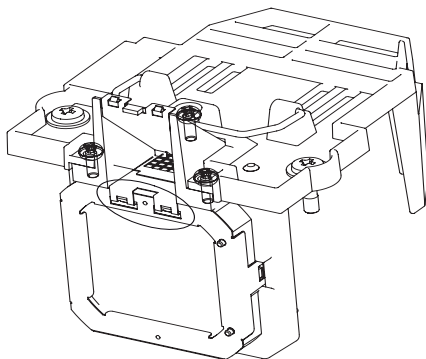
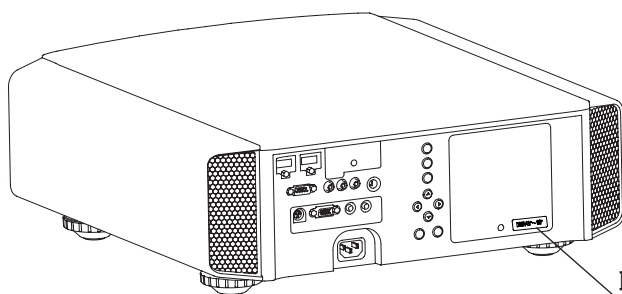


図5

取り付け確認用シールの貼付け

1 ランプ交換後にランプカバーへ「取り付け確認用シール」を貼ります

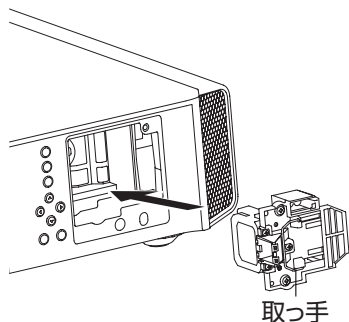
- 取り付け確認用シールはランプカバーの右下に貼り付けます。



取り付け確認用シール

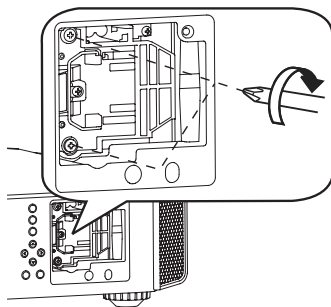
- 貼り付け確認用シールには「DOWN45° ～90° 」と書かれています。
- ランプアタッチメントを取り外したときは、貼り付け確認用シールを剥がして保管します。

5 新しいランプユニットを取り付けます



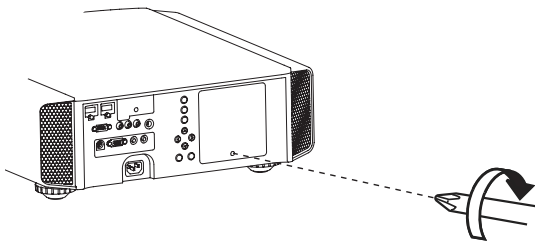
6 ランプユニットのネジを締めます

- ネジを⊕ドライバーで締めます。



7 ランプカバーを取り付けます

- ランプカバー上下2か所のツメを先に本体に差し込んでください。
- ネジを⊕ドライバーで締めます。



注意

- ランプユニットは純正品を使用してください。また、使用済みの古いランプユニットは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
- 新しいランプの表面に触らないでください。ランプの寿命が短くなったり、ランプが破裂する原因になります。

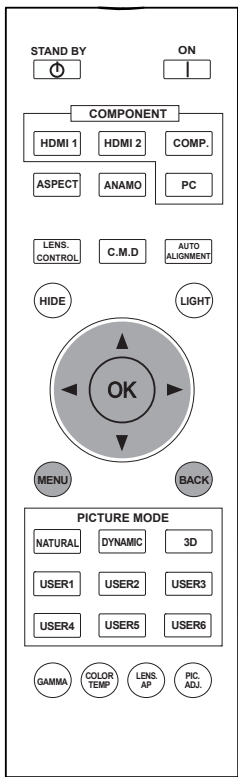


MEMO

ランプを交換したあとは

- 取りはずしたランプユニットを、お子様の手の届くところや燃えやすいものの近くに置かないでください。
- 使用済みのランプユニットは、蛍光灯と同じ扱いで廃棄してください。廃棄については、お住まいの自治体の指示に従ってください。

ランプ交換のしかた（つづき）

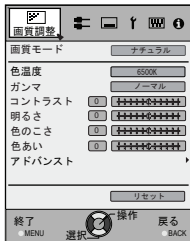


ランプ時間のリセット

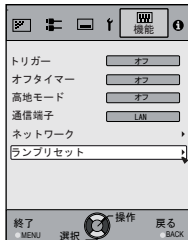
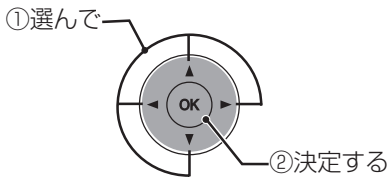
新しいランプユニットに交換したら、ランプ時間をリセットしてください。二つの方法を説明します。

メニュー画面からランプ時間をリセットします。

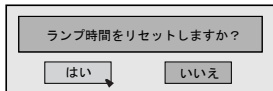
① 設定メニューを表示します



2 「機能」→「ランプリセット」を選びます



③ 再確認します



- **「はい」を選択してから、ランプ時間がゼロになります。また、前のメニューに戻ります。**

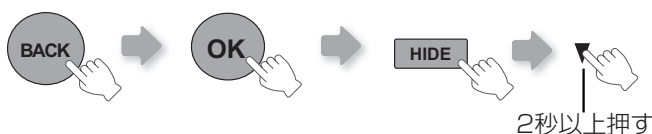
リモコンでランプ時間をリセットします。

1 電源プラグをコンセントに差し込みます

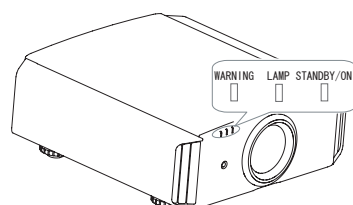
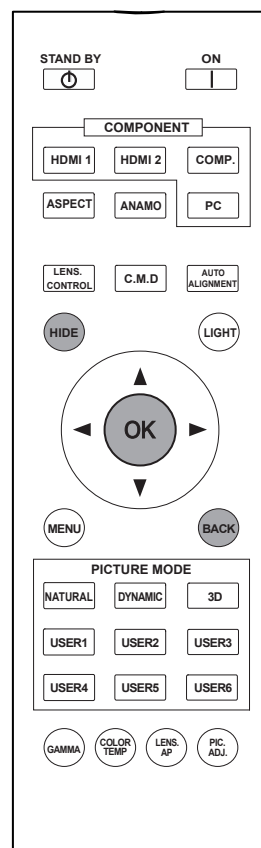
STANDBY/ON ●——— 赤に点灯

2 必ずスタンバイ状態で(電源プラグをコンセントに差し込んで、パワーオンしない状態で)リモコンを操作します

- 順番に押します。
- 各ボタンを押す間隔は2秒以内に押してください。
最後のボタンは2秒以上押してください。



- [LAMP] インジケーターと [STANDBY/ON] インジケーターが交互に3秒間点滅します。その後、スタンバイ状態になります。



お手入れ



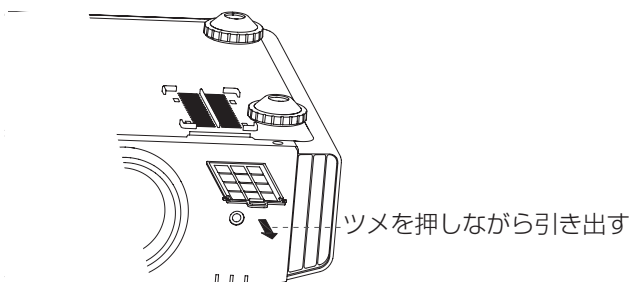
注意

- ランプ時間のリセットは、新しいランプに交換したときのみ行なってください。
- 途中でリセットは行わないでください。交換時間の目安が不明になり、ランプが破裂する原因になります。

フィルターの掃除と交換方法

フィルターは定期的に掃除してください。汚れていると吸気効率が悪くなり、故障の原因になります。

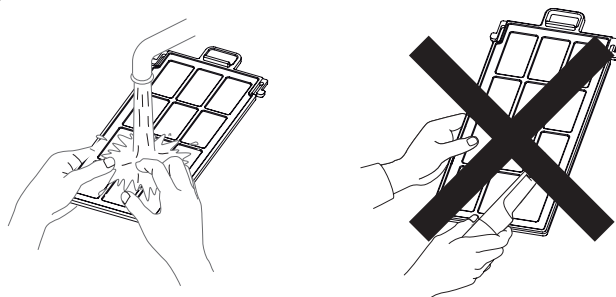
1 インナーフィルターをはずします



注意

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を反対にして、床や机の上などに置く時は、柔らかい布などを敷いて、その上においてください。本体の傷などの原因になります。

2 フィルターを掃除します



- 水で洗い、日陰で乾かしてください。
- 汚れがひどいときは中性洗剤を使ってください。中性洗剤を使用するときは、ゴム手袋を着用してください。
- 水洗いしたときは、完全に乾かしてから取り付けてください。ぬれたまま取り付けると感電や故障の原因になります。
- フィルターを掃除機やエアダスターなどで掃除しないでください。フィルターは柔軟なため、損傷する原因になります。



MEMO

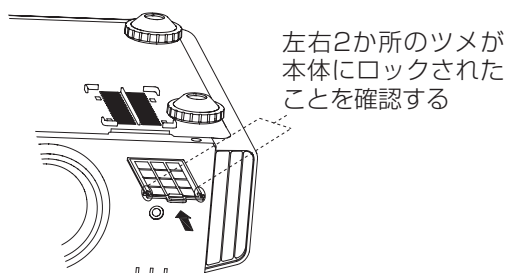
汚れがきれいにならないときや、損傷したときは

- 新しいフィルターと交換してください。そのまま使用すると本機内部にゴミが入り、映像に影が現れることがあります。
- フィルターの購入や内部にゴミが入った場合は、お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。

■ インナーフィルター
品番：

- 交換フィルター：
PC010661199

3 インナーフィルターを取り付けます



メモ

お手入れ

故障かな？と思ったら(トラブルシューティング)

修理を依頼される前に、次の点を確認してください。

こんなときは故障ではありません。

■ 下記のような場合でも、画面に異常がなければ心配ありません。

- 本体の上面や前面の一部が熱くなっている場合
- 本体から「ミシッ」という音がする場合
- 本体の内部から動作音が聞こえる場合
- 画面によっては色にじみが出る場合

■ 外部からの雑音やノイズにより正常に動作しなくなった場合、次の操作を行なってください。

- ① スタンバイ状態のときに電源プラグを1度抜いてから、再び差し込みます。
- ② 本体の電源ボタンを押して電源を入れ直します。

■ ランプが切れるときに音がすることがありますが、危険はありません。

■ D-ILA素子は高精度技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素があります。

電源が入らない		
電源コードがはずれていませんか？	電源コード(プラグ)をしっかりと差し込んでください。	参考ページ:27
ランプカバーを正しく閉めましたか？	スタンバイ状態のときに電源プラグをはずし、ランプカバーを正しく閉めてください。その後、電源プラグを差し込んでください。	参考ページ:61
ランプが冷却中ではありませんか？	クールダウンモードが終了してから、もう1度電源を入れてください。	参考ページ:29

映像が出ない		
正しい外部入力を選んでいますか？	正しい外部入力を選んでください。	参考ページ:28
AV機器を正しく接続していますか？	AV機器を正しく接続してください。	参考ページ:21～26
AV機器の電源は入っていますか？	AV機器の電源を入れて、再生してください。	参考ページ:28
AV機器から正しい信号が出ていますか？	AV機器を正しく設定してください。	参考ページ:21～26
入力端子の設定は正しいですか？	設定メニューの「COMP.」や「HDMI」を入力信号に合わせて設定してください。	参考ページ:46～47
映像を一時的に消していませんか？	[HIDE] ボタンを押して、映像を出してください。	参考ページ:32

リモコンが働かない		
乾電池は正しく入っていますか？	乾電池の極性(⊕、⊖)を正しく入れてください。	参考ページ:14
乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池に交換してください。	参考ページ:14
リモコンとリモコン受光部との間に遮へい物はありませんか？	遮へい物を取り除いてください。	参考ページ:19
距離が離れすぎていませんか？	近づいて送信してください。	参考ページ:19

映像が投射されない		
HDMI入力で映像がちらついたり、映らなくなっていないですか？	短いHDMIケーブルを使用してください。	参考ページ:22

HDMI 端子から映像が出ない		
HDMI機器制御はオフになっていますか？	「HDMI機器制御」を「オフ」にしてください。	参考ページ:46

●「HDMI機器制御」が「オン」のとき、一部の接続機器では映像が出なくなる場合があります。

色が出ない、おかしい		
映像調節は正しいですか？	設定メニューの「色のこさ」や「色あい」を調節してください。	参考ページ:41

映像がぼやける		
フォーカス(焦点)は合っていますか？	フォーカスを調整してください。	参考ページ:28
距離が近すぎたり、遠すぎたりしていませんか？	正しい距離に設置してください。	参考ページ:17、19

映像が欠ける		
画面マスクを設定をしていませんか？	設定メニューの「画面マスク」を「オフ」にしてください。	参考ページ:31、46
表示位置がずれていませんか？	設定メニューの「表示位置」の値を変えて、映像が欠けないようにしてください。	参考ページ:45

投写映像が暗い		
ランプの寿命が近づいていませんか？	情報メニューでランプ使用時間を確認してください。ランプの寿命が近いときは新しいランプユニットを準備するか、早めに交換してください。	参考ページ:60～63

電源を入れて投写するが、数分後に切れてしまう		
吸気口や排気口をふさいでいませんか？	スタンバイ状態のときに電源プラグをはずし、ふさいでいる物を取り除いてください。その後、電源プラグを差し込んでください。	参考ページ:4、9
フィルターが汚れていませんか？	フィルターを掃除してください。	参考ページ:64

突然電源が切れた		
オフタイマーを設定していませんか？	設定メニューの「オフタイマー」を「オフ」にしてください。	参考ページ:49～50

こんなメッセージが表示されたら

メッセージ	原因（内容）
COMP. 無信号	入力端子に何も接続されていないとき 入力端子が接続されているが、信号がないとき ➡ 映像信号を入力してください。
COMP.	本機で使用できない映像信号が入力されたとき ➡ 使用できる映像信号を入力してください。 * COMP. などの入力端子名は黄色で表示されます。
ランプ交換 戻る BACK	ランプ使用時間が2900時間を過ぎると表示されます。 [BACK] ボタンを押すと、メッセージは消えます。 ➡ 新しいランプユニットを準備し、早めの交換をしたうえでランプ時間をリセットしてください。（参考ページ:60～63）

保証とアフターサービス

保証書と補修用性能部品について

保証書(別添付)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。

● 光源ランプの保証期間については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低 8 年間は保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

66～67ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。 技術者の人件費、技術教育費、測定機械設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご連絡していただきたい内容

品名	D-ILA プロジェクター	お買い上げ日	年 月 日
型名	DLA-F110	故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所・お名前	付近の目印なども	電話番号	() -

	愛情点検	● 長年ご使用の本機の点検をぜひ! 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。
	このような症状はありませんか? ● 電源を入れても映像が出ない。 ● 上下、または左右の映像が欠けて映る。 ● 映像がときどき、消えることがある。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源を切っても、映像が消えない。	ご使用を中止してください 故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店に点検をご相談ください。

その他

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

業務機器ご相談窓口案内

お買上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、
下記の「業務機器ご相談窓口」にご相談ください。
全国のJ&K ビジネスソリューション株式会社がバックアップ致します。

● 業務機器の修理・保守についてのご相談窓口

J & K ビジネスソリューション株式会社			
拠 点 名	T E L	〒	所 在 地
北 海 道			
北海道エンジニアリングセンター	(011)898-7929	〒004-0005	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29
東 北			
東北エンジニアリングセンター	(022)287-0163	〒984-0011	仙台市若林区六丁の目西町 7-13
関東・甲信越			
お客様サポートセンター	(045)939-7320	〒226-8525	横浜市緑区白山一丁目16-2 ケンウッドビル3F
関東エンジニアリングセンター	(048)714-3178	〒331-0815	さいたま市北区大成町四丁目83 ジェイ・エス・ティー大成ビル1F
静岡・東海・北陸			
中部エンジニアリングセンター	(052)775-6033	〒465-0092	名古屋市名東区社台三丁目9
近 畿			
近畿エンジニアリングセンター	(06)6304-6715	〒532-0027	大阪市淀川区田川二丁目4-28
中国・四国			
中四国エンジニアリングセンター	(082)243-9839	〒730-0825	広島市中区光南三丁目9-17
九州・沖縄			
九州エンジニアリングセンター	(092)707-0500	〒812-0031	福岡市博多区沖浜町 11-10 サンイースト福岡 3F

● 製品についてのご相談窓口

お客様ご相談センター	(0120)2828-17 (フリーダイヤル)		
	携帯電話・PHS・一部のIP電話などからのご利用は下記の番号へおかけ願います。		
	(045)450-8950	〒221-8528	横浜市神奈川区守屋町三丁目12

※J&K ビジネスソリューション株式会社は日本ビクター株式会社の関連会社であり、日本ビクター株式会社が販売した業務機器のアフターサービスを担当しています。

平成22年12月1日現在・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので予めご了承ください。



こころのかよう
サービス

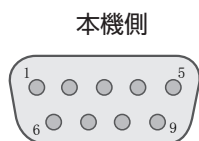
サービスネットワーク BS 9004

(1210)

RS-232C インターフェース

本機とパーソナルコンピュータをRS-232Cクロスケーブル(D-Sub9ピン)で接続すると、本機を制御できます。あるいはコンピューターネットワークを介して、LANケーブルで接続し、制御コマンドを送出することで本機を制御することもできます。システムの管理者に相談するか、専門書などを読んで、ご理解したうえでご利用ください。

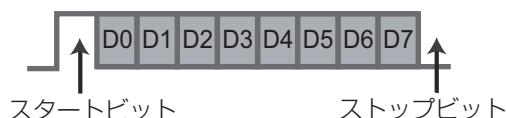
RS-232C 仕様



ピン No.	信号	動作	信号の方向
2	RxD	受信データ	PC → 本機
3	TxD	送信データ	本機 → PC
5	GND	シグナルグラウンド	-
1,4,6 - 9	N/C	-	-

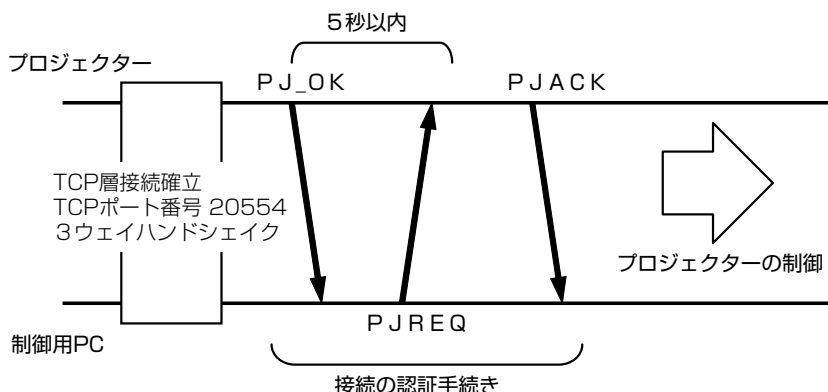
● PCは、パーソナルコンピュータなどのコントローラーの意味です。

モード	非同期
キャラクター長	8 ビット
パリティ	なし
スタートビット	1
ストップビット	1
データ速度	19200 bps
データ形式	バイナリ



TCP / IP 接続

LANで制御する前に、「3ウェイハンドシェイク(3way handshake)」でTCP層の接続を確立し、接続認証の為にプロジェクターからの「PJ_OK」の送信後5秒以内に「PJREQ」を送り「PJACK」を受信する必要があります。5秒以内に送信できなかったり「PJ_NG」「PJNAK」を受信した場合は、プロジェクターの動作状況などを確認したうえで再度、TCP層接続の確立から実施してください。



RS-232C インターフェース (つづき)

コマンドフォーマット

本機とパソコン間のコマンドは、「ヘッダー」「ユニット ID」「コマンド」「データ」「終了」の 5 種類で構成されています。

● ヘッダー (1 バイト)・ユニット ID (2 バイト)・コマンド (2 バイト)・データ (n バイト)・終了(1 バイト)

■ ヘッダー
通信の開始を示すバイナリコードです。

バイナリコード	種別	説明
21	操作コマンド	PC → 本機
3F	参照コマンド	PC → 本機
40	応答コマンド	本機 → PC
06	ACK	本機 → PC (コマンドを正常に受け付けたときに、PCへ返す)

■ ユニットID
本機を指定するコードです。 バイナリコードは「8901」固定です。

■ コマンドとデータ
操作コマンドとデータ(バイナリコード)

コマンド	種類	データ説明
0000	接続確認	スタンバイ時に、本機とPC間で通信ができるかを確認します。
5057	電源	スタンバイ時 31：電源をオンにします。 電源オン時 30：電源をオフにします。(スタンバイ状態)
4950	入力	電源オン時 32：COMP. 33：PC 36：HDMI 1 37：HDMI 2
5243	リモコン	付属のリモコンと同じコードを送ります。 ●「リモコンコード」(参考ページ；74)

参照コマンドとデータ(バイナリコード)

コマンド	種別	データの説明
5057	電源	スタンバイまたは電源オン時 30：スタンバイ状態 31：電源オン状態 32：クールダウンモード中 34：本機の異常時
4950	入力	電源オン時 32：COMP. 33：PC 36：HDMI 1 37：HDMI 2

■ 終了

通信の終了を示すコードです。バイナリコードは「0A」固定です。

■ リモコンコード

- 通信するときは、バイナリコードで送信します。

リモコンボタン名称	バイナリコード	リモコンボタン名称	バイナリコード
▲	37 33 30 31	DYNAMIC	37 33 36 42
▼	37 33 30 32	USER 1	37 33 36 43
BACK	37 33 30 33	USER 2	37 33 36 44
ON	37 33 30 35	USER 3	37 33 36 45
STAND BY	37 33 30 36	HDMI 1	37 33 37 30
AUTO ALIGNMENT	37 33 31 33	HDMI 2	37 33 37 31
HIDE	37 33 31 44	PIC.ADJ.	37 33 37 32
LENS.AP.	37 33 32 30	GAMMA	37 33 37 35
MENU	37 33 32 45	C.TEMP	37 33 37 36
OK	37 33 32 46	ASPECT	37 33 37 37
LENS CONTROL	37 33 33 30	3D	37 33 38 37
▶	37 33 33 34	C.M.D	37 33 38 41
◀	37 33 33 36	ANAMO	37 33 43 35
PC	37 33 34 36	USER 4	37 33 43 41
COMP.	37 33 34 44	USER 5	37 33 43 42
NATURAL	37 33 36 41	USER 6	37 33 43 43

RS-232C インターフェース (つづき)

RS-232C 通信例

RS-232C の通信例を示します。

■ 操作コマンド

種別	コマンド	説明
接続確認	PC→本機：21 89 01 00 00 0A 本機→PC：06 89 01 00 00 0A	接続を確認
電源(オン)	PC→本機：21 89 01 50 57 31 0A 本機→PC：06 89 01 50 57 0A	スタンバイ状態から電源をオンにしたとき
電源(オフ)	PC→本機：21 89 01 50 57 30 0A 本機→PC：06 89 01 50 57 0A	電源オン状態から電源をオフ(スタンバイ状態)にしたとき
入力 (COMP.)	PC→本機：21 89 01 49 50 32 0A 本機→PC：06 89 01 49 50 0A	映像入力をコンポーネントにしたとき
リモコン (MENU)	PC→本機：21 89 01 52 43 37 33 32 45 0A 本機→PC：06 89 01 52 43 0A	リモコンの [MENU] ボタンを押したときと同じ動作をさせたとき

■ 参照コマンド

種別	コマンド	説明
電源(オン)	PC→本機：3F 89 01 50 57 0A 本機→PC：06 89 01 50 57 0A 本機→PC：40 89 01 50 57 31 0A	電源オン状態の情報を得たとき
入力 (HDMI 1)	PC→本機：3F 89 01 49 50 0A 本機→PC：06 89 01 49 50 0A 本機→PC：40 89 01 49 50 36 0A	HDMI 1入力の情報を得たとき

著作権とご注意



商標と著作権について

- HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing LCC の商標また登録商標です。

使用上のご注意

素子の焼き付きについて

高輝度な画面や高コントラストな画面を持つ静止映像などを長い時間映さないでください。素子に画像が焼き付くことがあります。特にビデオゲームやコンピュータープログラム画面などの画像には注意してください。通常のビデオ再生映像などの動画では問題ありません。

長時間使わないときは

長時間使用しないと、機能に支障をきたすことがあります。ときどき電源を入れて動作させてください。

使用環境について

- スクリーンに直射日光や照明があたらないように、カーテンなどでさえぎってください。部屋を暗くすることにより、より良い映像でご覧いただけます。
- たばこを吸う部屋では、使用しないでください。故障の原因となります。

部品交換の目安について

本機には、機能を維持するために交換が必要となる部品(光学部品、冷却用ファンなど)が含まれています。部品交換の目安は、使用する頻度や環境によって大きく変わります。交換につきましては、お買い上げの販売店、またはお近くのピクチャーサービス窓口にご相談ください。

電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取扱をしてください。

お手入れのしかた

キャビネットの汚れは

- 柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でぬらした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。
 - ・シンナーやベンジンでふかない
 - ・殺虫剤など揮発性のものをかけない
 - ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

通気孔に付着した汚れは

- 掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときは、布でふき取ってください。ほこりが付着したまま放置すると、内部の温度調節ができなくなり、故障の原因となることがあります。

レンズの汚れは

- 市販のブローヤーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃用)でふき取ってください。液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因になります。(参考ページ:9)

主な仕様

品名	D-ILAプロジェクター	
型名	DLA-F110-W *1	
表示パネル／サイズ	D-ILA 素子 *2*3 0.7型(1920画素 x 1080画素) x 3枚 (総画素：約622万画素)	
投写レンズ	2.0 倍電動ズームレンズ (1.4:1 ~ 2.8:1) (ズーム ・ フォーカス：電動)	
光源ランプ	220 W 超高圧水銀ランプ [型番：PK-L2210U] 平均使用可能時間：3000時間(標準モード)	
対応画面サイズ	約 60 型 ~ 約 200 型 (アスペクト比 16:9)	
投写距離	約1.8m~約12m	
アナログビデオ 入力フォーマット	480i, 480p, 576i, 576p, 720p/50 Hz, 720p/60 Hz, 1080i/50 Hz 1080i/60 Hz	
デジタルビデオ 入力フォーマット	480i, 480p, 576i, 576p, 720p/50 Hz, 720p/60 Hz, 1080i/50 Hz 1080i/60 Hz, 1080p/24 Hz, 1080p/50 Hz, 1080p/60 Hz PC対応信号表(本P20)	
解像度	1920 ドット x 1080 ドット	
入力端子		
	コンポーネン ト映像入力	1系統、RCAピンジャック×3 Y：1.0Vp-p、75Ω Pb/Cb, Pr/Cr：0.7Vp-p、75Ω *R/G/B Sync on Gにも対応
	HDMI入力	2系統、HDMI 19ピン×2(HDCPに対応) *4 HDMI 1.4a準拠 *5
	PC入力	1 系統、D-sub15 ピン VGA
出力端子		
	トリガー端子	1系統、Φ3.5mmDC Power Jack (⊖-Ⓢ-⊕) DC OUT 12V、0.1A
	3Dシンクロ	3 Dシンクロエミッター専用端子(1系統、ミニDIN3pin)
制御端子		
	RS-232C端子	1系統、D-sub 9ピン(オス)x1 (外部コントロール)
	リモート端子	1系統、ステレオミニジャックx1 (リモコン)
	LAN 端子	1系統、RJ-45プラグ x1
使用電源	AC 100V 50/60Hz	
消費電力	350W(3.5A) (待機時：0.9W)	
使用環境	温度: 5℃ ~ 35℃；湿度:20%~80%(非結露)； (保存温度：-10℃~60℃)	
設置高度	5000ft(1524 m)以下	
外形寸法 (横幅x高さx奥行)	約 455mmx179mmx472mm (フット、レンズ、突起部除く)	
質量	15.1kg	
付属品	(3ページをご覧ください。)	

- *1 -Wは本体色が白色系です。 -Bは本体色が黒色系です。
- *2 D-ILAとは、 Direct drive Image Light Amplifier の略です。
- *3 D-ILA素子は非常に精度の高い技術で作られており、 99.99 % の有効画素がありますが、 0.01 % 以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、 あらかじめご了承ください。
- *4 HDCPとは、 High-bandwidth Digital Content Protection systemの略です。HDCP規格変更などによりHDMI入力端子の映像が表示されないことがあります。
- *5 イーサネット(Ethernet)には対応していません。
 - ・ 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
 - ・ このプロジェクターを使用できるのは日本国内のみで、 外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

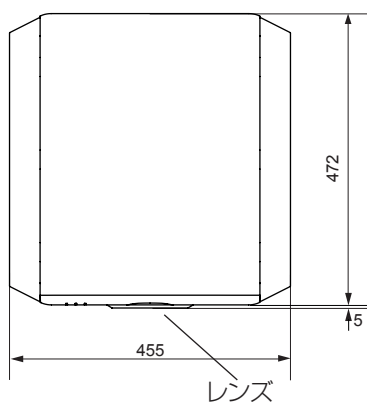
This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

 - ・ 写真や図は説明をわかりやすくするために、 誇張・省略・合成をしています。 実物とは多少異なりますのでご了承ください。
 - ・ 本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

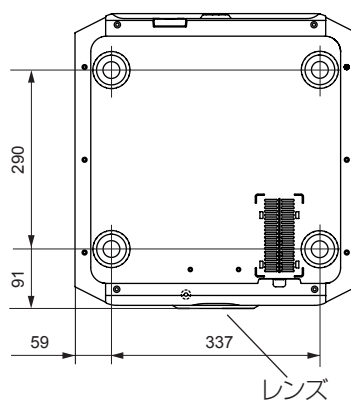
外形寸法

(単位：mm)

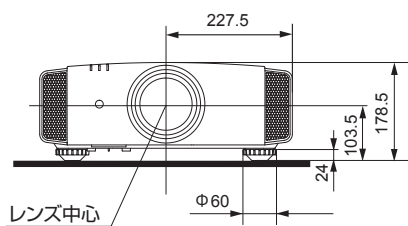
■ 上面



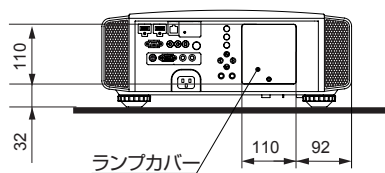
■ 底面



■ 前面



■ 後面



索引

3D

「Three-dimensional」の略語	
操作手引き(用語解説).....	Page 52
3D SYNCHRO端子でつなぐ.....	Page 24
[2-1]HDMIの3Dフォーマット.....	Page 47
[1]画質調整の画質モード.....	Page 41
注意事項.....	Page 8,52

HDMI

「High Definition Multimedia Interface」の略語	
仕様.....	Page 77
接続方法.....	Page 22
[2-1]HDMI.....	Page 46
(長さに関する注意).....	Page 22

アナモフィックレンズ

[3]設置のアナモフィック.....	Page 48
--------------------	---------

色

[1]画質調整の色温度.....	Page 41
[1]画質調整の色のこさ.....	Page 41
[1]画質調整の色あい.....	Page 41
[1-1]色温度.....	Page 42
[1-2-2]カスタムガンマ.....	Page 44
[1-2-3]カラーマネジメント.....	Page 45

画面サイズ

距離表.....	Page 19
[2]入力信号のアスペクト(Video)とアスペクト(PC).....	Page 45
[3-1]レンズコントロールのズーム..	Page 48

画面マスク

[2]入力信号の画面マスク.....	Page 46
--------------------	---------

画面メニュー

メニュー構成表.....	Page 33
[1]画質調整.....	Page 33,36
[2]入力信号.....	Page 33,37
[3]設置.....	Page 34,38
[4]表示設定.....	Page 34
[5]機能.....	Page 35,38

[6]情報.....	Page 35
操作手順.....	Page 40

乾電池

種類.....	Page 3
電池の入れ方.....	Page 14
注意.....	Page 8

ガンマ

用語解説.....	Page 51
[1]画質調整のガンマ.....	Page 41
[1-2-2]カスタムガンマ.....	Page 44

交換部品

「フィルター」を参照	
「ランプ」を参照	

シフト

シフト範囲.....	Page 17
調整方法.....	Page 29

ズーム

倍率.....	Page 77
調整方法.....	Page 28

設置

角度.....	Page 17
設定方法.....	Page 45
天吊り方法.....	Page 7,18
注意.....	Page 6

設定メニュー

構成.....	Page 41
メニュー操作方法.....	Page 40

投射距離

距離表.....	Page 19
----------	---------

索引(つづき)

入力信号

PC信号対応表..... Page 20

[6]情報..... Page 50

ノイズ

[1-2]アドバンストのNR..... Page 42

フィルター

吸気口フィルターの場所..... Page 9

交換フィルター品番..... Page 64

掃除と交換..... Page 64

メッセージ

意味..... Page 68

ランプ

交換ランプ品番..... Page 60

推奨使用時間..... Page 60

[6]情報のランプ時間..... Page 50

交換方法..... Page 60

[1-2]アドバンストのランプパワー..... Page 43

[5]機能のランプリセット..... Page 50

ランプ時間のリセット方法..... Page 62,63

注意事項..... Page 6

リモコン

ボタン配置..... Page 14

使用方法..... Page 19

「乾電池」を参照

レンズ

[3-1]レンズコントロール..... Page 48

[3-1]レンズコントロールの

フォーカス..... Page 48

[3-1]レンズコントロールの

ズーム..... Page 48

[3-1]レンズコントロールの

シフト..... Page 48

(レンズ清掃)..... Page 76

製品についてのご相談や修理のご依頼は**お買い上げの販売店にご相談ください。****転居されたり、贈答品などでお困りの場合は****下記のご相談窓口にご相談ください。**

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては70ページをご覧ください。

修理に関するご相談**ビクターサービスエンジニアリング株式会社**
71ページをご覧ください。**お買い物情報や全般的なご相談**

フリーダイヤル

**お客様ご相談センター****0120-2828-17**携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなど
からのご利用は**電話 (045) 450 - 8950****FAX (045) 450 - 2275**ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>**日本ビクター株式会社**

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

0710TTH-AO-AO